

学校法人根津育英会武蔵学園

2021 年度  
事業報告書



2021 年度事業報告書発行に際して .....	1
§ 法人の概要 .....	3
設置する学校、学部・学科等 .....	3
沿革 .....	4
組織図、主な役職 .....	6
事務機構図 .....	7
理事会、評議員会の開催 .....	8
§ 事業の概要 .....	9
要 約 .....	9
大学 .....	9
高校中学 .....	18
学園 .....	23
武蔵エンタープライズ .....	27
§ 財務の概要 .....	29
§ 参考データ .....	41



## 2021 年度事業報告書発行に際して

理 事 長 根津 公一  
武蔵学園長 池田 康夫

学校法人根津育英会武蔵学園 2021 年度事業報告を発行するにあたり、この報告書の成り立ちについて一言申し上げます。

武蔵学園には、1922（大正 11）年の建学以来の「三理想」というものがあります。「三理想」は、初代校長一木喜徳郎の頃に掲げられたもので、「東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物」、「世界に雄飛するにたえる人物」、「自ら調べ自ら考える力ある人物」がそれにあたります。そして、三理想を現代に活かし、実践していくために、2014 年、本学園の理事会評議員会の議を経て、学園百周年をめざして方向を示したものが、「理事長ドクトリン」であり、それを教学の方針として具体化したものが「学園長プラン」です。

2016 年度から始まり、2021 年度に至る 6 カ年の本学園の第三次中期計画は、この「理事長ドクトリン」「学園長プラン」のもとに策定され、前半 3 年で中間見直しを行い、後半 3 年の事業を進めることとなっております。本事業報告の対象とする 2021 年度は、第三次中期計画後半の最終年度に当たります。

第三次中期計画の後半には、本学園にとって二つの大きな出来事がありました。

一つは言うまでもなく、新型コロナウイルスの世界的な蔓延によるパンデミックの発生です。このことは、学園の教育研究にも大きな影響を及ぼし、とりわけ、事業計画の特色の一つである国際交流の分野においても、大きな制約を受けざるを得ませんでした。しかし、学園の教職員は一丸となって感染対策、IT の活用等に取り組み、所与の条件の中で教育研究の質の維持に、最善を尽くすことができたものと確信しております。

もう一つの出来事は、2020 年 12 月 6 日、これまで学園運営の先頭に立ち、多くの改革を成し遂げてこられた前学園長有馬朗人氏が、突然逝去されたことです。ご逝去直前まで、お元気に我々を指導され、「学園長プラン」を受け継ぐ創立百周年後の「新学園長プラン」策定のための論議にも多くのユニークなアイディアを提案されている途中の訃報であっただけに、遺された我々は、その喪ったものの大きさに呆然と致しました。しかし、学園の教職員一同、2006 年学園長就任以来有馬氏が進められてきたビジョンを受け継ぎ、着実にその実現をめざしていく決意しております。

2022（令和 4）年 4 月の学園創立百周年を目指して、2021 年度、大学においては国際教養系の新学部創設の準備が着々と進み、高校中学においては「新生武蔵のグランドデザイン」の下、海外短期留学制度、海外直接進学奨励制度そのほか、世界に目を向けた新たな制度が、創設または整備されつつあります。また大学、高校・中学ともリベラルアーツ&サイエンスを見据えた教育内容の深化も進んでおります。

武蔵学園創立百周年に向けて、着実に歩み続ける本学園の 2021 年度事業の詳細報告を以下にご高覧いただければ幸甚です。



## § 法人の概要

### 設置する学校、学部・学科等

法人の名称	学校法人根津育英会武蔵学園	
事務所の所在地	東京都練馬区豊玉上一丁目26番1号	
設置校	学部・学科・課程名等	開設年度
武蔵大学	大学院	
	経済学研究科博士前期課程 (経済・経営・ファイナンス専攻)	1969年度 2006年度
	経済学研究科博士後期課程 (経済・経営・ファイナンス専攻)	1972年度 2008年度
	人文科学研究科博士前期課程 (欧米文化専攻)	1973年度 1997年度
	(日本文化専攻)	1997年度
	(社会学専攻)	1995年度
	人文科学研究科博士後期課程 (欧米文化専攻)	1997年度 1997年度
	(日本文化専攻)	1997年度
	(社会学専攻)	1997年度
	学部	
	経済学部	1949年度
	経済学科	1949年度
	経営学科	1959年度
	金融学科	1992年度
	人文学部	1969年度
	英語英米文化学科	2011年度
	ヨーロッパ文化学科	2011年度
	日本・東アジア文化学科	2011年度
	社会学部	1998年度
	社会学科	1998年度
メディア社会学科	2004年度	
武蔵高等学校	全日制課程 普通科	1948年度
武蔵中学校		1949年度

(注)2022年3月31日現在募集中の学部・学科・課程名等。

## 沿革

- 1921年 9月 財団法人根津育英会設立認可
- 1921年 12月 武蔵高等学校(旧制七年制文科・理科)設立認可
- 1922年 4月 武蔵高等学校(旧制七年制文科・理科)開設
- 1948年 3月 武蔵高等学校(新制)設置認可
- 1948年 4月 武蔵高等学校(新制)開設
- 1949年 1月 武蔵中学校(新制)設置認可
- 1949年 2月 武蔵大学(経済学部経済学科)設置認可
- 1949年 4月 武蔵中学校(新制)開設  
武蔵大学(経済学部経済学科)開設
- 1950年 3月 学制改革により旧制武蔵高等学校自然廃校
- 1951年 2月 財団法人根津育英会の学校法人根津育英会への組織変更認可
- 1959年 1月 武蔵大学経済学部経営学科設置認可
- 1959年 4月 武蔵大学経済学部経営学科増設
- 1969年 2月 武蔵大学人文学部(欧米文化学科、日本文化学科、社会学科)設置認可
- 1969年 3月 武蔵大学大学院(経済学研究科経済学専攻修士課程)設置認可
- 1969年 4月 武蔵大学に人文学部(欧米文化学科、日本文化学科、社会学科)増設  
武蔵大学大学院(経済学研究科経済学専攻修士課程)を設置
- 1972年 3月 武蔵大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程設置認可
- 1972年 4月 武蔵大学大学院経済学研究科に経済学専攻博士課程増設
- 1973年 3月 武蔵大学大学院人文科学研究科(英語英米文学専攻修士課程、ドイツ語ドイツ文学専攻修士課程、フランス語フランス文学専攻修士課程、日本語日本文学専攻修士課程)設置認可
- 1973年 4月 武蔵大学大学院に人文科学研究科(英語英米文学専攻修士課程、ドイツ語ドイツ文学専攻修士課程、フランス語フランス文学専攻修士課程、日本語日本文学専攻修士課程)増設
- 1975年 4月 武蔵大学大学院経済学研究科修士課程・博士課程を区分制博士課程(前期・後期)に改組
- 1991年 12月 武蔵大学経済学部金融学科設置認可
- 1992年 4月 武蔵大学経済学部金融学科増設
- 1995年 3月 武蔵大学大学院人文科学研究科社会学専攻修士課程設置認可
- 1995年 4月 武蔵大学大学院人文科学研究科に社会学専攻修士課程増設
- 1996年 12月 武蔵大学大学院人文科学研究科欧米文化専攻博士課程(前期・後期)、同研究科日本文化専攻博士課程(前期・後期)、同研究科社会学専攻博士課程(後期)設置認可
- 1997年 4月 武蔵大学大学院人文科学研究科英語英米文学専攻修士課程、同研究科ドイツ語ドイツ文学専攻修士課程、同研究科フランス語フランス文学専攻修士課程、同研究科日本語日本文学専攻修士課程募集停止  
武蔵大学大学院人文科学研究科に欧米文化専攻博士課程(前期・後期)、日本文化専攻博士課程(前期・後期)、社会学専攻博士課程(後期)増設〔社会学専攻修士課程は、社会学専攻博士前期課程となる。〕
- 1997年 12月 武蔵大学社会学部(社会学科)設置認可  
武蔵大学人文学部比較文化学科設置認可
- 1998年 4月 武蔵大学人文学部社会学科募集停止  
武蔵大学に社会学部(社会学科)増設

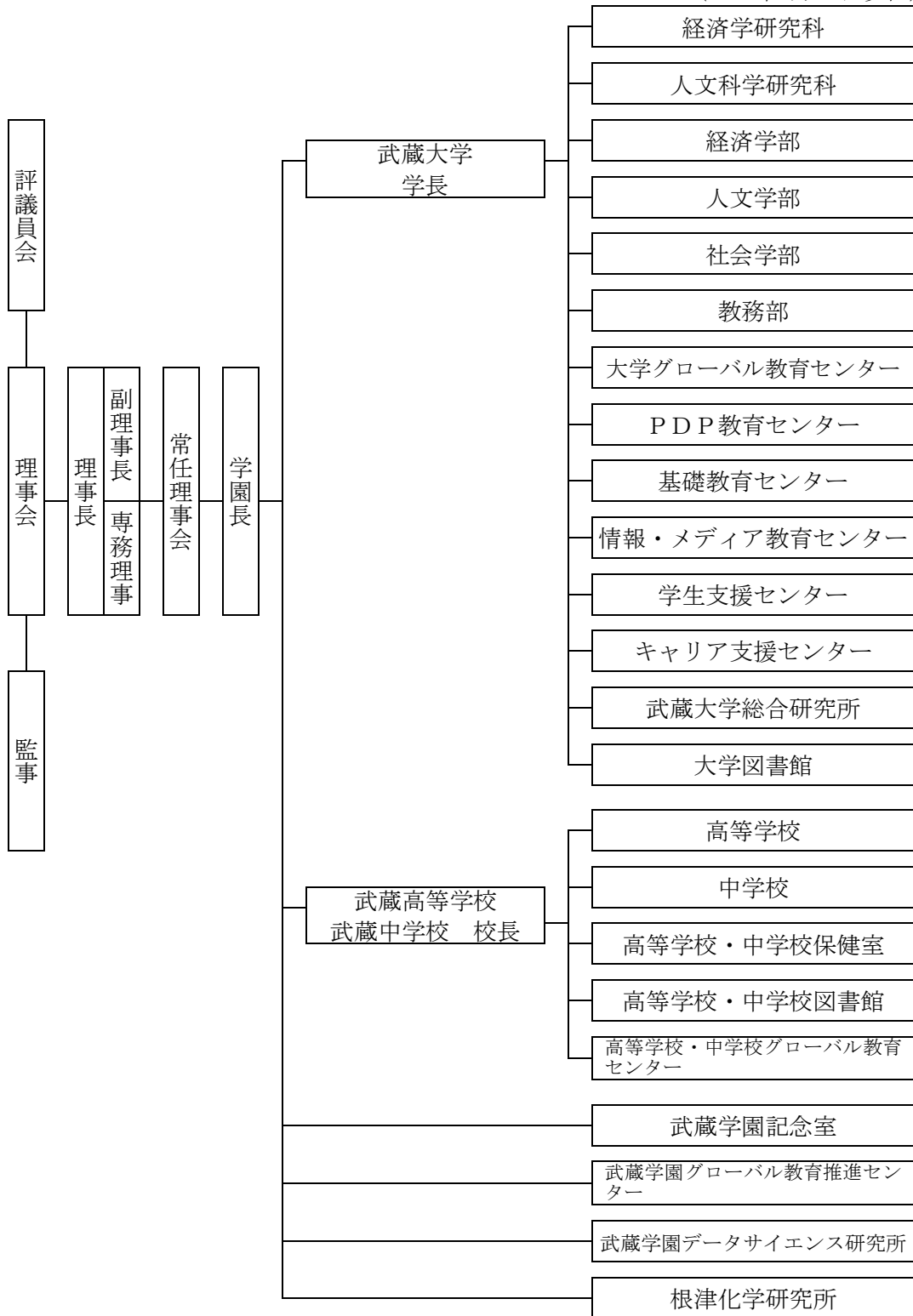


	武蔵大学人文学部に比較文化学科増設
1998年 12月	武蔵大学大学院経済学研究科経営・ファイナンス専攻博士課程(前期・後期設置認可
1999年 4月	武蔵大学大学院経済学研究科に経営・ファイナンス専攻博士課程(前期・後期)増設
2002年 3月	武蔵大学大学院人文科学研究科英語英米文学専攻修士課程、同研究科ドイツ語ドイツ文学専攻修士課程、同研究科フランス語フランス文学専攻修士課程、同研究科日本語日本文学専攻修士課程廃止
2003年 3月	武蔵大学人文学部社会学科を廃止
2003年 6月	武蔵大学社会学部メディア社会学科設置届出受理
2004年 4月	武蔵大学社会学部にメディア社会学科増設
2004年 10月	武蔵大学人文学部英米比較文化学科、ヨーロッパ比較文化学科、日本・東アジア比較文化学科設置届出受理
2005年 4月	武蔵大学人文学部欧米文化学科、日本文化学科、比較文化学科募集停止 武蔵大学人文学部英米比較文化学科、ヨーロッパ比較文化学科、日本・東アジア比較文化学科増設
2005年 5月	武蔵大学大学院経済学研究科経済・経営・ファイナンス専攻博士課程(前期)設置届出受理
2006年 4月	武蔵大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程(前期)、同研究科経営・ファイナンス専攻博士課程(前期)募集停止 武蔵大学大学院経済学研究科に経済・経営・ファイナンス専攻博士課程(前期)を設置
2007年 12月	武蔵大学大学院経済学研究科経済・経営・ファイナンス専攻博士課程(後期)〈昼夜開講制〉設置届出受理
2008年 3月	武蔵大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程(前期)、同研究科経営・ファイナンス専攻博士課程(前期)廃止
2008年 4月	武蔵大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程(後期)、同研究科経営・ファイナンス専攻博士課程(後期)募集停止 武蔵大学大学院経済学研究科に経済・経営・ファイナンス専攻博士課程(後期)〈昼夜開講制〉を設置
2010年 7月	武蔵大学人文学部英語英米文化学科、ヨーロッパ文化学科、日本・東アジア文化学科設置認可
2011年 3月	武蔵大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程(後期)、同研究科経営・ファイナンス専攻博士課程(後期)廃止
2011年 4月	武蔵大学人文学部英米比較文化学科、ヨーロッパ比較文化学科、日本・東アジア比較文化学科募集停止 武蔵大学人文学部に英語英米文化学科、ヨーロッパ文化学科、日本・東アジア文化学科を設置
2012年 3月	武蔵大学人文学部欧米文化学科、日本文化学科、比較文化学科を廃止
2012年 8月	学校法人名の変更及び収益事業の開始に伴う寄附行為一部変更認可
2013年 4月	学校法人根津育英会武蔵学園に改称
2015年 4月	ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム開始
2015年 12月	武蔵高等学校と武蔵中学校の併設型中高一貫教育校への移行届出受理
2016年 5月	武蔵大学人文学部英米比較文化学科を廃止
2017年 10月	武蔵大学人文学部日本・東アジア比較文化学科を廃止
2019年 9月	武蔵大学人文学部ヨーロッパ比較文化学科を廃止

組織図、主な役職

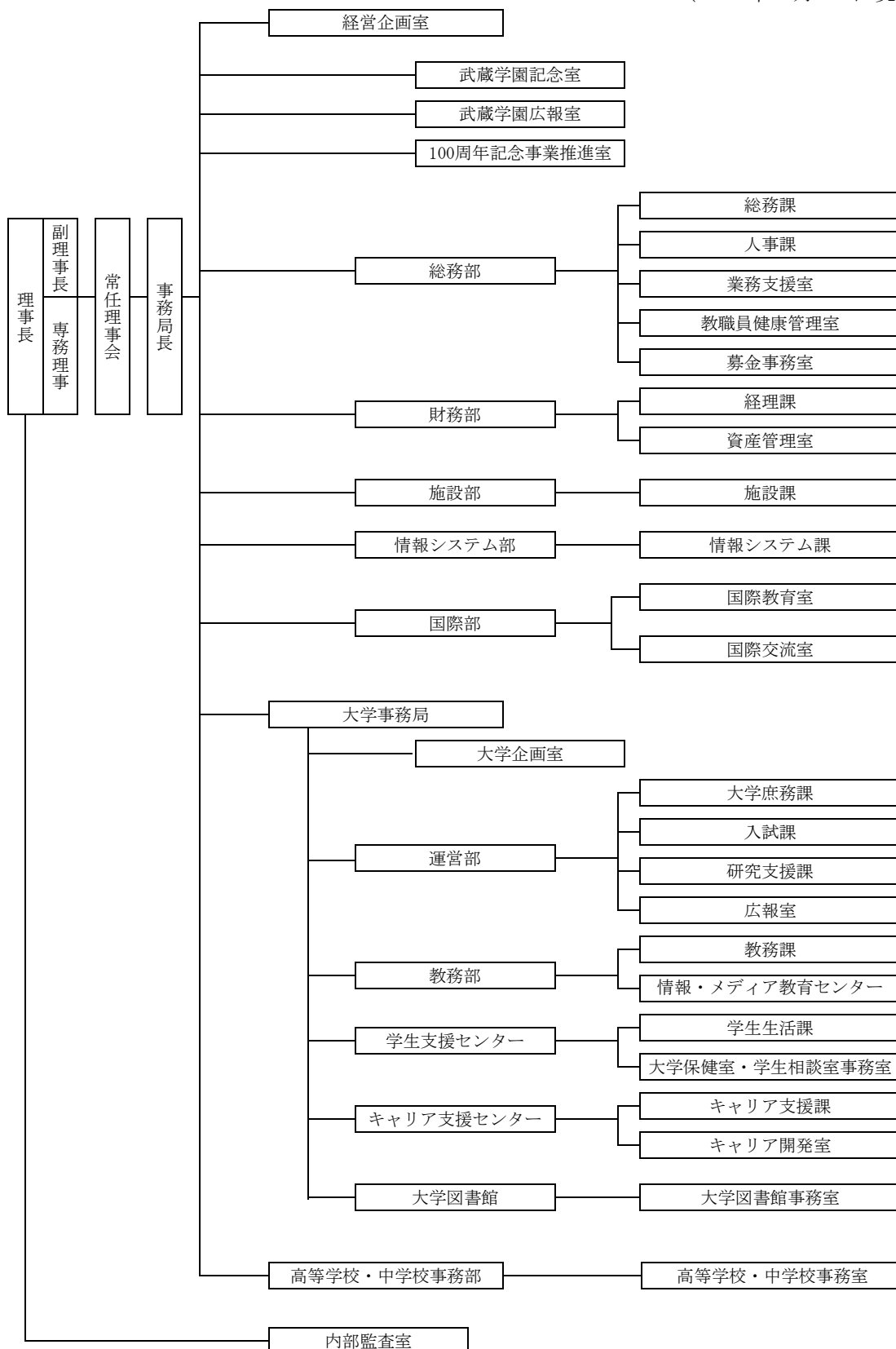
学校法人根津育英会武蔵学園  
 理事長 根津 公一  
 武蔵学園長 池田 康夫  
 副理事長 池田 康夫  
 専務理事 元木 隆史

武蔵大学学長 山寄 哲哉  
 武蔵高等学校中学校校長 杉山 剛士  
 (2022年3月31日現在)



事務機構図

(2022年3月31日現在)



## 理事会、評議員会の開催

2021年度開催の理事会及び評議員会の議題は以下のとおりである。

- 1 第 291 回理事会及び第 276 回評議員会(5 月 27 日)
  - 専務理事選任の件
  - 監事、評議員選任の件
  - 2020年度事業報告書案
  - 2020年度収支決算案
  
- 2 第 292 回理事会(7 月 15 日)
  - 審議・議決事項なし
  
- 3 第 293 回理事会及び第 277 回評議員会(10 月 21 日)
  - 評議員選任の件
  - 学長選任の件
  - 顧問委嘱の件
  - 武蔵学園創立100周年記念一時金支給の件
  - 2021年度収支補正予算案
  - 武蔵学園第四次中期計画案
  - 武蔵大学学則一部変更案
  - 学校法人根津育英会武蔵学園寄附行為一部変更案
  - 武蔵大学大学院学則一部変更案
  - 武蔵高等学校学則一部変更案
  - 武蔵中学校学則一部変更案
  
- 4 第 294 回理事会(12 月 9 日)
  - 副学長選任の件
  
- 5 第 295 回理事会及び第 278 回評議員会(3 月 24 日)
  - 副理事長選任の件
  - 評議員、理事選任の件
  - 第3号基本金の組入れ金額増額について
  - 武蔵大学国際教養人育英基金規程一部改正案
  - 2021年度第二次収支補正予算案
  - 2022年度事業計画案
  - 2022年度収支予算案
  - 武蔵大学学則一部変更案
  - 2021年度「私立大学ガバナンス・コード」遵守状況報告について

## § 事業の概要

### 要 約

## 大学

2021（令和3）年度の事業は、2014（平成26）年度に公表された「理事長ドクトリン」ならびに「学園長プラン」にもとづいて策定された第三次中期計画の最終年度の事業として実施された。同中期計画において、武蔵大学は計画完了時の大学像を「異文化を理解し未来を創造する教養あるグローバル市民の育成～創立百周年に向け原点に立ち返り建学の三理想の継承と未来への変革を目指す～」とした。この大学像の実現に向けて実施した事業の成果について、中期計画に従って「戦略的事項」と「経常的重要事項」に分けて述べる。ただし、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大が続いていたため、2020年度と同様にその影響を受け、通常の年度と異なる環境下での事業展開となった。

### I 戦略的事項

#### 1 リベラルアーツ&サイエンス教育を基盤としたグローバル市民の育成

- (1) 「国際化に対応した教育課程の導入」については、2021年4月に国際教養学部  
の設置届出書類を提出し、意見等は付されずに届出が受理された。その後、カリ  
キュラムの運用を決定し、規程の制定やシステム設計等を行い、新たに准教授1  
名、助教2名、特別専任外国語講師3名を採用した（2022年4月着任含む）。

既存3学部の各学部の特徴を生かしたプログラム・コースについては、経済学  
部の「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム」（以下  
「PDP」という。）は7年目を迎え、人文学部の「グローバル・スタディーズコー  
ス」（以下「GSC」という。）と社会学部の「グローバル・データサイエンスコース」  
（以下「GDS」という。）は5年目を迎えた。

経済学部のPDPに関しては、第3期生10名がロンドン大学の学位を取得し、  
2022年度も10名の学生が5月に実施される試験を受ける。LSE（London School  
of Economics）との学生派遣協定に基づき、前年度から繰り越した1名を含む合  
計2名の推薦を決定したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2名とも留学

を辞退した。ロンドン大学教育課程提供機関である SIM (Singapore Institute of Management) への派遣も 9 名の申請があったものの、最終的な派遣人数は 2 名 (うち、1 名はオンライン留学) にとどまった。

BSc 科目 (専門教育プログラム) の履修者 (BSc 1 年目) は、第 3 期生 18 名、第 4 期生 23 名、第 5 期生 25 人と増加傾向にあったが、第 6 期生に関しては新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け 12 名にとどまった。2021 年度に入学した第 7 期生の 28 名が IFP 科目 (基礎教育プログラム) を履修していることから再び増加することが見込まれる。

人文学部の GSC に関しては、コース修了者は英語プログラムが 23 名 (2017 年度入学者 1 名を含む)、フランス語プログラムが 1 名、韓国・朝鮮語プログラムが 1 名で、ドイツ語と中国語は前年度に続いて修了者なしであった。ここ 2 年のコロナ禍もあり、各プログラムについての正確な検証は難しいが、協定留学などを利用した長期留学の希望者は増加しており、語学資格についても、多くの言語が最上級者、上級者を毎年数名輩出できるようになっており、GSC はグローバル教育の向上に寄与したといえる。GSC の第 2 期生の進路や就職先は、早稲田大学大学院、聖路加国際大学への学士入学、北海道テレビ放送のアナウンサー、星野リゾート・マネジメント、JTB などと多岐にわたっている。

社会学部の GDS に関しては、修了者は 16 名 (2017 年度入学者 2 名を含む) で、GPA の平均は学部平均を上回り、3 名が成績優秀者として表彰された。そのうち 1 名は根津賞を受け、1 名が答辞を任された。また、16 名中 4 名が協定留学生となり、文化庁主催「メディア芸術データベース活用コンテスト」ファイナリストに 2 名が選ばれた。学生自身による GDS への評価では、「1 年次の授業や研修を通して、その後 3 年間やるべきことややりたいことが見えた」「複雑な統計手法を学ぶとともに、データサイエンスの実践的な知見を学べた」「語学研修を通して英語力が伸びた」「多様な価値観を共有し合う必要性を認識した」など肯定的な記述が多くみられた。GDS の第 2 期生の進路は、休学者を除く全員が決定し、就職先も、野村證券、森永製菓、日本ユニシス、農林水産省など、GDS で学んだ内容が活かされることが期待される。

「ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラムを中心とした新協定に基づく教育課程を導入する」に関しては、西安外国語大学からの留学生受け入れについて、4 月に協定書を締結した。加えて、「博士前期課程 (修士課程) 西安外

国語大学大学院ダブルディグリー学生入試」として新たな入試を通じて受け入れる体制を整えるため、出願書類や口述試験方法の詳細を調整し、入学検定料、入学金を免除する制度を整えたが、コロナ禍もあり出願者はいなかった。

<課題>

- ▶ 国際教養学部の運営を軌道に乗せ、完成年度に向けての体制を整備すること。
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外派遣ができない場合に対応して、学内で効果的な教育プログラムを実施すること。
- ▶ GSCの後継プログラムであるグローバルチャレンジ（GC）においても、各言語プログラムで修了者や褒賞対象となる学生を増やすこと。
- ▶ GDSについては、成績のばらつきが依然として残っているため、これを改善すること。

(2)「多様化する時代に即した教育課程の編成」については、武蔵大学リベラルアーツアンドサイエンス教育センターを設置するための規程を制定し、移行期間を含め、運営体制を明確化した。2022年度開始の3つの副専攻について、年間スケジュールと各副専攻のコーディネーターを確定した。「学際的・体系的な履修を促すための授業科目のナンバリングの実施」に関しては、2020年度に全学的なナンバリングルールを確定し、2021年度は各学部においてコードを再検討し、更新された専門分野コードに基づき、2022年度カリキュラム科目のナンバリングを策定した。

学園内の高大連携事業については、2021年度の武蔵高等学校生の履修登録数は41授業であった。「ゼミの武蔵をブラッシュアップする」については、経済学部の新たな取り組みである「海外インターンシップ」「グローバル企業研究」を2022年度から開始するため、奨学金等の整備を進めた。

<課題>

- ▶ リベラルアーツアンドサイエンス教育センターの安定的な運営を行い、2026年度カリキュラムに向けた準備を開始すること。

(3)「附置組織の再編成」については、2022年4月より、事務組織を改編し、独立

した組織として運営部入試課をアドミッションセンターとして再編した。加えて、アドミッションセンター長及び副センター長、アドミッションオフィサーを配置できることとした。

<課題>

- ▶ アドミッションセンター長が中心となり、全学的な総合型選抜方式（A0 入試）の見直しや重点高校向けの広報活動を強化すること。
- ▶ 高等学校の新たな教育課程に対応するため、2025 年度入試の科目や出題範囲等について検討すること。

(4) 「新しい教育方法の導入」については、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたため、大教室における密を避けるために、過去3年間の履修者数が平均200名以上の授業（前学期93授業、後学期85授業）を、オンデマンド型のオンライン授業で実施した。また、ゼミなどに適した機器を提供し、ハイブリッド授業を希望する教員に貸与した。

<課題>

- ▶ オンデマンド型のオンライン授業の効果検証を引き続き行うこと。
- ▶ 平常時におけるオンライン授業の活用方法の検討を引き続き行うこと。

(5) 「国外協定校の拡充および留学の促進」について、受入留学生に関しては、2021年度前学期は、新規11名、2020年度からの継続4名、期間変更7名の計22名を受け入れる予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、最終的には、新規3名、2020年度からの継続4名、合計7名（渡日3名、オンライン4名）にとどまった。2021年度後学期は、新規19名、2021年度前学期からの継続1名、期間変更5名、計25名を受け入れる予定であったが、最終的には新規3名、期間変更1名、合計4名（全員オンライン留学）の受入となった。派遣留学生に関しては、2020年秋の選考時点では延べ44名、加えて2021年度春の選考時点では延べ20名の合計64名の派遣を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、最終的に年間合計18名（渡航7名、オンライン11名）となった。



<課題>

- ▶ 受入留学生の指導を適切に行い、武蔵大学の学生との交流も積極的に行うこと。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の情報収集を継続し、学生の留学や海外研修等に伴う安全確保により一層努めること。

(6) 「入試制度の見直しによる新しい層の獲得」については、国際教養学部が定員100名に対して1,915名の志願者があり、新しい受験者層の獲得に大きく貢献した。

<課題>

- ▶ 国際教養学部の入試を振り返り、次年度入試に向けた課題を整理し、必要に応じて対応策を図ること。

(7) 「新しいグローバルリーダーの育成」については、「外国語授業を質的・量的に充実させる」という施策について、1年次の必修英語の内容をアカデミックイングリッシュとするとともに、全学部の2年次生以上が履修可能な科目「TOEIC対策英語」を新設した。その他の事項については、2022年度に発足するリベラルアーツアンドサイエンス教育センターに引き継ぐこととなった。「MCVをさらに活用・発展させる」については、前年度に引き続きオンラインでプログラムを提供し、同時に対面で開室することでコロナ前の平時に戻すための準備も進めた。また、多国籍のフロアスタッフを活用し、多文化・多宗教の理解を深めるアクティビティを実施した。後学期にはMCVや学内プログラムを活用した本学出身の職員による説明会を実施し、在学生との交流の機会を設けた。また同職員がMCV業務担当となることで、学生スタッフ経験者と在学生が交流・連携できる環境を整備した。

<課題>

- ▶ 引き続き、全学生を対象にMCVの活用を進めること。

## II 経常的重要事項

### 1 魅力ある大学としての社会的評価と認知度の向上

4階にグループスタディールームを備えた大学11号館が2021年12月に竣工し、2022年4月から学生の利用が可能になった。BYOD (Bring Your Own Device) については継続して検討を行い、ZoomやGoogle Classroomの利用のための支援を行った。

<課題>

- 11号館のラーニングコモンズ及びグループスタディールームの安定的運営を図ること。
- BYOD導入の準備を計画的に進めること。

(2)「学生・卒業生支援の拡充」については、「国家公務員、地方公務員、教員等への就職者を2割増にする」という施策に関して、1・2年次生向けガイダンスに加え、公務員キックオフセミナー、公務員合同説明会、練馬区OB・OG座談会は1・2年次生の参加も可能とした。また、父母の会総会で保護者向け公務員就活情報提供会を実施した。

<課題>

- 新型コロナウイルス感染症が沈静化していない中で、就職活動のオンライン化が定着しつつあるので、これに対応したキャリア支援を引き続き実施すること。

(3)「大学の知名度の向上」については、2020年度媒体効果の追跡調査報告会を実施し、調査結果を元に媒体選定を行い、ターゲットとする層に到達する媒体を再検討した。ターゲット層に対するリーチ件数は2015年度比+332.7%と目標値を達成した。順位が上昇したランキングは9項目あり、特に「進路指導教諭の評価による教育力が高い大学」の項目では、2015年度に比べて、私立大学編で9位から6位、地域別編で10位から7位へと順位を上げ、過去最高の順位となった。

<課題>

- 媒体活用型の広報活動に加えて、高校や予備校に直接働きかける活動も強化すること。国際教養学部開設に伴い、適切な広報活動を実施すること。

- (4)「研究活動の推進」については、『世界雄飛』を実践する研究者を支援する」という施策に関して、全専任教員に各種制度や予算枠について説明と告知を行った。総合研究所のプロジェクト研究においては、国際的な広がりをもった統一テーマへの申請が2020年度実績を上回った。

<課題>

- 総合研究所を引継ぐ総合研究機構のもとで、研究所や研究会の設置に積極的に取り組むこと。

## 2 社会的責任

- (1)「社会貢献の推進」については、ダイバーシティ推進室（仮称）設置WGを全9回開催したほか、他大学調査や研修会等を実施し、報告書をまとめた。2021年度「教員の手引き」内に、セクシュアル・マイノリティの学生への対応について記載し、より一層の周知を図った。また、教務部所轄事項で不要な性別表記が残っていた資料から性別表記を削除した。

<課題>

- ダイバーシティ推進室（仮称）設置WGの報告を受けて、学園とも連携しながら、ダイバーシティ推進室設置に向けて活動を始めること。

## 3 安定的な大学運営

- (1)「ガバナンス体制の強化」については、「定員管理を厳格化する」という施策については、全学指定校選定会議を開催し、入学定員に対する指定校制推薦入学比率を算出できる資料を基に、学長ガバナンスのもとで進めた。全学アドミッション会議において各学部の入学定員充足率の数値目標を設定し、各入試形態において全学歩留会議を実施し、各学部で作成した歩留案に基づき、学長ガバナンスのもとで合格者を決定した。

- (2)「学生の意見を反映させた多様な大学運営の実施」については、新型コロナウイルス感染拡大により、意見を聴取する機会は設けられなかったが、学友会本部

や白雉祭実行委員会の意見・要望を聴取し、対面での白雉祭を実施することができた。2020年度卒業時アンケートの結果を踏まえて検討した結果、2022年度の学生への成績開示時期を早めることを決定し、またオンラインご意見箱を引き続き運用した。

- (3)「大学院の入学定員充足率の向上」については、経済学研究科においても大学院進学奨励学生制度を導入し、経済学研究科博士前期課程Ⅱ期入試において、大学院進学奨励学生1名からの出願があり、合格した。また、4年次に同制度を利用している学生が1名いる。2021年度は、大学院進学奨励学生制度利用に係る早期修了制度要件未充足者の対応についても検討した。

人文科学研究科は、2019年度に承認された「人文科学研究科入学者充足率改善に向けた検討案」に基づいて、入学試験における「英語」の位置付け、試験方法等の検討結果を反映した入試大綱を作成した。また、2020年度より、大学院進学奨励学生もⅠ期入試（学内推薦入試）に出願できるよう制度改革を行った結果、2021年度は3名が本制度を利用し、そのうち2名がⅠ期入試に出願・合格した。

<課題>

- 2021年度に4学部体制の入試を実施して得られた経験や情報を、2022年度入試に活用すること。
- 大学院の定員充足については、効果がみられた対策もあるので、引き続き検討を進めること。

- (4)「公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審する」については、2021年9月に大学基準協会の実地調査に向けた資料作成や各種調整および当日対応を行った。その後、2022年1月に評価結果（委員会案）への意見申立てを行い、同年3月に評価結果を受領し、「適合」と認定された。

- (5)「教員評価制度を導入する」については、教員評価の実施に向けた具体的な検討には至らなかった。今後は、第四次中期計画の中で引き続き検討する。

<課題>

- 大学基準協会の認証評価で指摘を受けた改善課題への対応に着手すること。
- 担当副学長、担当学長補佐を中心とし、教員の自己点検・評価を教員評価制度に結びつける方策を策定すること。

# 高校中学

2021年度も第4波（アルファ株）、第5波（デルタ株）、第6波（オミクロン株）と、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用など、新型コロナウイルス感染症に影響された一年であった。そうした状況においても、感染防止対策を徹底することにより、対面授業を継続し、欠席者には「学びの保証」としてオンライン授業を提供することができた。2020年度全く実施できなかった学校行事についても、例えば日帰り山上学校など、形態を工夫しながら実施することができた。

困難な状況ではあったが、教職員で力を合わせ、第三次中期計画の最終年度についておおむね計画を達成できたと考える。今後、新たに策定した『新生武蔵のグランドデザイン』を踏まえ、新たな百年に踏み出す第四次中期計画の実現に取り組んでいきたい。

## I 戦略的事項

### 1 グローバル化に対応した人材を輩出するためのリベラルアーツ教育の深化と実践

#### (1) グローバル化対応

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け様々な活動はストップした。そうした中であっても、国内の活動においては、海外提携校とのオンライン交流会の実施や模擬国連への参加など、生徒を積極的に外の世界へと挑戦させることができた。また、5名の生徒が海外大学進学に挑戦するなど、海外への挑戦志向が高まってきた。

- ・海外大学直接進学予定者2名に奨学金を授与
- ・海外提携校とのオンライン交流会の実施（3月）
- ・高校模擬国連大会の日本代表に選出（11月）

#### <課題>

- 整備された奨励金規程の円滑な運用
- 外部グローバルプログラムの積極的な活用
- 学園国際部とのさらなる連携による海外大学進学サポートの強化

#### (2) リベラルアーツ教育の深化

『新生武蔵のグランドデザイン』を踏まえ、情報・技術の導入や総合講座の改編など、新カリキュラムを構築した。また、各教科においても6年間の体系的な指導を目指す「各教科カリキュラムデザイン」を策定した。さらに、コロナ禍で

導入した Google Classroom の継続利用やタブレットの段階的導入を進め、武蔵のアナログ的な良さとデジタルの ICT 機器との融合を図るための積極的な取り組みを始動した。

- ・新カリキュラムの構築
- ・各科におけるカリキュラムデザインの策定
- ・Google Classroom の継続活用と「学びの保証」としてのオンライン授業の実施
- ・タブレットの段階的導入（中 1・中 2、さらに新中 1・新高 1）
- ・教育 ICT 活用推進委員会の設置

<課題>

- 新カリキュラムの安定化
- カリキュラムデザインの更新
- ICT を活用した情報教育のグランドデザインの策定
- 高校側の単位認定や大学側の授業時間変更などによる高大連携のさらなる推進

## II 経常的重要事項

### (1) 高校中学カリキュラムの再構築と教育指導方法の確立

戦略的事項（2）で述べたとおり。新カリキュラムを構築するとともに、教員の授業力向上を図るため、新任者に対する校長による授業見学及びフィードバックを行った。

- ・新カリキュラムの構築
- ・新任者に対する校長による授業見学及びフィードバック

<課題>

- 新カリキュラムの安定化と各教科カリキュラムデザインの更新
- 授業見学も含めた効果的な研修の実施

### (2) 中学入試および広報の強化

コロナ禍にあつて、学校説明会の定員を限らざるをえない中、学校ホームページの刷新、校内散策会の実施やきめ細かい資料送付などにより、学園広報室とも連携して危機感を持って中学入試および広報に取り組んだ。その結果、640名と過去最高の志願者数を集めるなど、大きな成果が得られた。

- ・学校ホームページの刷新と希望者への資料送付の実施
- ・個別の学校説明会のほか校内散策会の実施（7月、9月）
- ・「校長散歩」（年間 125 回）を始めとした情報発信の充実

<課題>

- 受験生や保護者のニーズに応える広報活動と学園広報室とのさらなる連携

(3) 進学実績向上への取り組み

「進路希望の実現」に向け、進路指導のグランドデザインを策定し、キャリアガイダンスの実施、模試などのデータ分析と情報の共有化、長期休暇の補講の実施など、組織的系統的な指導に努めたが、国公立大学などの進学実績の点では、結果として、課題を残した。今後、グランドデザインの実効化を図っていく必要がある。

- ・進路指導のグランドデザインの策定
- ・卒業生の体験を伝えるキャリアガイダンスの実施
- ・校内模試や大学共通テストの結果分析についての教員全体への共有化
- ・夏期補講・春期補講の実施

<課題>

- 模試の分析結果に基づく各教科の学習指導方法改善に向けた対策の実効化
- 進路指導委員会と学年組主任団との連携の強化
- 大学見学会など生徒の進路意識を高めるキャリアガイダンスの充実

(4) 心身サポート体制の拡充と健康管理の強化

コロナ禍という困難な状況を機に、生徒の健康管理に向けた校内協力体制が構築された。また、教育相談委員会を中心に情報の集約態勢が構築されるとともに、カウンセラーや小児精神科医との効果的な連携も進んだ。さらに不登校生徒など学習の遅れが見られる生徒に対する支援がされるようになった。

- ・新型コロナウイルス感染症に対する検温など健康管理体制の整備
- ・教育相談委員会を中心とした個別案件に対応する情報集約体制の整備
- ・スクールカウンセラーに加え、医療につなげる小児精神科医の活用
- ・不登校傾向にある生徒などへの学習支援の充実

<課題>

- 学年組主任団と教育相談委員会及び保健室との連携の一層の推進
- 学習支援員制度の定着

(5) 教育環境の充実

家計急変に伴う経済的に困窮する家庭を切れ目なく支援できるよう、家計急変奨学金や武蔵奨学金について給付額を充実させるなど、奨学金規程の見直しを行



った。ICT 教育についても、教室の無線 LAN 環境を整備するなど、環境整備に努めた。また、サッカーグラウンドの人工芝についても 15 年ぶりの張り替えも行った。

- ・奨学金規程の見直し
- ・校内 Wi-Fi 環境の整備
- ・サッカーグラウンドの人工芝の張り替え

#### <課題>

- 情報センターとしての図書館再整備に向けた研究
- 各教室における無線 LAN 環境の引き続きの整備

#### (6) 教員の研究活動への支援

武蔵の強みの一つである教員の研究活動が促進されるように、紀要の発行を進めた。

- ・武蔵高等学校中学校紀要の発行準備

#### <課題>

- 研究紀要の安定的発行（事業計画終了）

#### (7) 教育目標達成に適した組織体制の整備

組織力の強化を図るために、校務分掌規程を整備した。また、部活動の負担軽減の一助として、部活動指導員を次年度より試行的に配置することとした。加えて、教員の業務負担軽減を踏まえ、新たな労務管理制度について検討した。

- ・校務分掌規程の整備
- ・部活動指導員の試行的配置
- ・新しい労務管理制度についての検討

#### <課題>

- 各委員会と学年組主任団の有機的連携
- 部活動を中心とした業務負担軽減の具体策の策定と実施
- 新たな労務管理制度の定着

#### (8) 高校中学校学校評価の実施

学校評価を進めていく一助として、保護者会役員会において、各学年の意見集約などにより積極的な意見交換を図った。

- ・保護者会役員との意見交換会の実施(12月)

<課題>

- 生徒・保護者からの意見集約も含めた本校独自の評価方法の検討

(9) 高校同窓会との連携強化

新型コロナウイルス感染症もあり、同窓会役員会への定例的な参加はできなかったが、緊密な連絡を図りつつ、高中のグローバル化などへの奨学金支援や学習支援など、連携の具体化に努めた。

- ・ グローバル教育への奨学金支援の実施
- ・ 同窓会の支援による学習支援員の制度化

<課題>

- グローバル教育への安定的継続的支援に向けた連携強化
- 学習支援員制度の安定化
- 同窓生との有機的な連携の強化

# 学園

## I 戦略的事項

### 1 高質な教育を実現するための学園ガバナンスとマネジメント

#### (1) 経営と教学の一体化：「中期計画の浸透と実行」

役員と大学執行部／高中執行部とのそれぞれの定例会で、第三次中期計画最終年となる事業計画実施の詰めと、第四次中期計画策定への協議を重ねることが出来た。なお、第四次中期計画策定においては、経営企画室が所管となり、役員と学長、校長、事務局長等が一同に集まり幾度の協議を行った。

#### <課題>

- ▶ 定例会において、事業計画の進捗状況等を確認し、執行への活発な意見交換を行う環境が定着したので、学長と校長がより一層のスピード感あるマネジメントを可能にする協議を継続する。

#### (2) 迅速な意思決定ができる教学組織

高中の執行部組織は着実に機能しており、遅れていた全学的な組織機能を規定する「校務分掌規程」が2021年度末に整備され2022年度から施行される。

#### <課題>

- ▶ 高中においては、校務分掌規程制定目的である円滑かつ効率的な学校運営を推進すること。

#### (3) 教学組織の機能化とそれに適合する事務組織

大学は新学部の運営と第四次中期計画推進を図るため教学組織を再編した。それに伴い事務組織においても、課題であった分散している部署の統合と、高中の校務を支援する目的も加味して、より一層の教職協働が可能となる体制を整えた。

#### <課題>

- ▶ 大学部門の新事務組織において、教員・職員のリーダーによる協調で業務執行が的確になされること。

- 高中部門においては、学園におかれた組織の「情報システム部」「国際部」「広報部」を活用し、校務の効率化を図ること。

#### (4) 百周年記念事業の実施

百周年記念事業における施設整備の最終施策である大学新 11 号館建設は、無事故で 12 月に竣工した。

式典・祝賀会は、コロナ禍のため式典のみを都内ホテルにて開催することとし準備を進めた。

#### <課題>

- 2022年度事業として、『武蔵学園百年史』刊行と学園グローバル化推進事業として『MUSASHI Global Days』の開催をすること。

## II 経常的重要事項

### 1 組織・人事制度の改革

大学の新学部設置及びリベラルアーツ&サイエンス教育カリキュラムの深化に適應する教員組織改編は、東京 23 区における大学の学部等の収容定員の抑制で学費収入増を図れなかったため、あらかじめ取り決めた人件費総額の枠内で多様な任用制度を活用した任用計画で実行している。

高中教員に関しては、「働き方改革」の動向及び「武蔵らしい教育」の在り方を踏まえ、労務管理の改善案を策定した。

職員組織においての横断的な業務展開をする仕組の活用という施策は、新型コロナワクチンの大学拠点接種という特別な業務を、総務課がリーダーとなり、教職員健康管理室、施設課及び武蔵エンタープライズが連携して業務を遂行した。

#### <課題>

- 大学・高中教員の人事労務策についてはモニタリングをしていくこと。

### 2 コンプライアンス、社会的責任

新型コロナワクチンの大学拠点接種を、学校運営の社会的責任として、高校同窓生である本学校医と医療従事者の同窓生の協力を得て実施した。

個人情報保護については、法令の改正に則り、学内の規程改正を2022年度4月施行で整備を進めた。

労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施を、夏季休暇が含まれる9・10月から、平常の勤務態勢である10・11月に変更するとともに、検査項目について教員の業務内容に沿った内容を追加して精度の向上を図った。

<課題>

- 法人／学校は、法改正及び社会の状況変化に適時対応し、教職員の社会倫理、組織倫理及び個人倫理にも適切な対応を行う。



# 武蔵エンタープライズ

2021年度事業計画	2021年度事業報告
<p>①人材の確保と育成</p> <p>当社の事業のバトンを繋ぐ次の走者の確保と育成が求められている。</p> <p>社会の変化のスピードは益々速くなっており、今後発生する学校法人からの要求の内容も、大きく変化していくことも想定される。</p> <p>変化に対応できるよう、新しい人材の確保と育成、組織の整備に努める。</p> <p>2021年度は、とくに事業開発面の人材確保に注力する。</p>	<p>①人材の確保と育成</p> <p>事業開発部門の強化を図るため、2021年4月1日付けで幹部社員1名の採用を行った。</p> <p>これを契機として、本年度を学園からの調達に依存しない収入の機会を具体化するための準備年度と位置付け、多分野の調査を行った。</p> <p>同時に、既存主要業務についても新たな視点からの点検に着手、担当者の意識改革にも取り組んだ。</p>
<p>②学園施設部との連携の強化</p> <p>当社の安定的な発展のためには、設立当初から取り組んできた施設貸出、施設管理、自動販売機に加え、2015年度より始めた「施設設計・監理」を育てて基盤4事業とすることが重要である。これらは全て学園施設部の所管となる。</p> <p>学園の資産（土地、建物、構築物、設備等）を、最適な状態（コスト最小、効果最大）で維持し、管理運営するために、施設部との連携をさらに強化して、コスト管理、安全、快適環境、省エネルギー等の諸課題の均衡を図りつつ、統合的に管理する事を目指す。</p> <p>2021年度は、前年度に続き、特に新型コロナウイルス感染症対策について、学園からの臨機の要請に即応する体制を整えて行くと共に、大学11号館建設と連動する各校舎の内外装変更等の業務に取り組む。</p> <p>また、将来を見据え、学園からの調達に依存しない収入の機会があれば、人材の育成と並行して、開拓の可能性を模索して行く。</p>	<p>②学園施設部との連携の強化</p> <p>学園施設部と連携し、中長期的な視野に立った、学園施設・設備の維持更新の計画を提案し、適正で過不足のない、ライフサイクルマネジメントの促進を図った。</p> <p>大学11号館建設の実施設業務を受託し、学園施設部からの支援を受けつつ施設機能の調整等、設計諸活動を手掛けた。</p> <p>その他、学園施設部から依頼を受けた各種の営繕工事、設備工事等の設計・監理を行った。</p> <p>一方、新型コロナウイルス感染症対策に関しては、昨年度に続き、学園施設部を通じた学園からの要望を受けて、臨機に対応した。</p>





## § 財務の概要

### 1. 2021年度収支決算書ならびに決算の概要

2021年度事業活動収支決算は、収入については寄付金等が予算に対して増額となり、支出については主に人件費、教育研究経費、その他の特別支出(主に資産処分差額)が予算に対して支出減となりました。

(1) 資金収支				
資金収入合計	17,115,187 千円	(補正予算比	301,830 千円減	1.7%減)
資金支出合計	17,112,930 千円	(補正予算比	930,447 千円減	5.2%減)
(2) 事業活動収支				
教育活動収入	7,382,127 千円	(補正予算比	49,260 千円増	0.7%増)
教育活動支出	7,260,350 千円	(補正予算比	30,698 千円減	0.4%減)
教育活動収支差額	121,777 千円			
教育活動外収入	348,539 千円	(補正予算比	45,840 千円減	11.6%減)
教育活動外支出	- 千円			
教育活動外収支差額	348,539 千円			
経常収支差額	470,317 千円			
特別収入	256,653 千円	(補正予算比	5,127 千円増	2.0%増)
特別支出	41,282 千円	(補正予算比	22,357 千円減	35.1%減)
特別収支差額	215,370 千円			
基本金組入前当年度収支差額	685,688 千円			
基本金組入額	△2,191,217 千円	(補正予算比	44,849 千円減	2.1%増)
当年度収支差額	△1,505,529 千円			

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

## (1) 資金収支決算

## 2021 年度資金収支計算書

&lt;収入の部&gt;

&lt;支出の部&gt;

(単位:千円)

科 目	予算	決算	差異	科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,857,486	5,859,640	△ 2,154	人件費支出	3,900,973	3,890,977	9,995
手数料収入	325,000	331,736	△ 6,736	教育研究経費支出	1,907,319	1,879,481	27,837
寄付金収入	174,000	214,213	△ 40,213	管理経費支出	652,671	662,471	△ 9,800
補助金収入	836,065	833,132	2,932	借入金等利息支出	-	-	-
資産売却収入	864,422	864,421	0	借入金等返済支出	-	-	-
付随事業・収益事業収入	55,589	45,504	10,084	施設関係支出	1,183,915	1,190,633	△ 6,718
受取利息・配当金収入	394,380	348,539	45,840	設備関係支出	236,522	186,600	49,921
雑収入	138,703	138,877	△ 174	資産運用支出	9,931,320	9,509,908	421,411
借入金等収入	-	0	0	その他の支出	423,164	522,700	△ 99,536
前受金収入	1,354,277	1,383,996	△29,719	予備費	(0) 100,000		100,000
その他の収入	8,790,252	8,496,094	294,157				
資金収入調整勘定	△ 1,373,157	△ 1,400,969	27,812	資金支出調整勘定	△ 292,507	△ 729,843	437,336
前年度繰越支払資金	2,041,050	2,041,050		翌年度繰越支払資金	1,414,690	2,043,307	△ 628,617
収入の部合計	19,458,067	19,156,237	301,829	支出の部合計	19,458,067	19,156,237	301,829

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

## 主な勘定科目についての説明

## 収入の部

学生生徒等納付金収入	大学 4,912,271 千円、高校中学 947,368 千円。
手数料収入	入学検定料収入 324,440 千円他。
寄付金収入	特別寄付金収入 172,163 千円、一般寄付金収入 42,050 千円。
補助金収入	国庫補助金収入 508,608 千円、地方公共団体補助金収入 307,995 千円他。
資産売却収入	有価証券売却収入 127,176 千円、特定金銭信託売却収入 733,835 他。
付随事業・収益事業収入	補助活動収入 44,841 千円他。
受取利息・配当金収入	3号基本金引当特定資産運用収入 50,416 千円、その他の受取利息・配当金収入 298,123 千円。
雑収入	私立大学退職金財団交付金収入 42,178 千円、東京都私学財団退職資金交付金収入 44,825 千円、施設設備利用料収入 10,550 千円、その他の雑収入 41,323 千円。
資金収入調整勘定	期末未収入金 92,699 千円、前期末前受金 1,308,270 千円は当該年度の資金の動きではないため控除。

## 支出の部

人件費支出	教員人件費支出 2,556,105 千円、職員人件費支出 1,160,964 千円他、総額 3,890,977 千円。
教育研究経費支出	前年度比 19,552 千円増の総額 1,879,481 千円。
管理経費支出	前年度比 94,977 千円増の総額 662,471 千円。
施設関係支出	主な工事は大学 11 号館建設工事、大学 1 号館アドミッションセンター改修工事、総額 1,190,633 千円。
設備関係支出	教育研究機器備品支出 70,095 千円、図書支出 37,996 千円、ソフトウェア支出 69,836 千円他。
資産運用支出	減価償却引当特定資産繰入支出 6,413,838 千円他。
資金支出調整勘定	期末未払金 724,894 千円、前期末前払金 4,948 千円は当該年度の資金の動きではないため控除。

## (2) 事業活動収支決算

## 2021 年度事業活動収支計算書

&lt;収入の部&gt;

&lt;支出の部&gt;

(単位:千円)

<収入の部>				<支出の部>				
	科 目	予算	決算	差異	科 目	予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	5,857,486	5,859,640	△ 2,154	人件費	3,919,740	3,909,605	10,134
	手数料	325,000	331,736	△ 6,736	教育研究経費	2,676,360	2,655,160	21,199
	寄付金	140,000	193,213	△ 53,213	管理経費	694,949	695,584	△ 635
	経常費等補助金	816,089	813,155	2,933	徴収不能額等	-	-	-
	付随事業収入	55,589	45,504	10,084				
	雑収入	138,703	138,877	△ 174				
	教育活動収入計	7,332,867	7,382,127	△ 49,260	教育活動支出計	7,291,049	7,260,350	30,698
	教育活動収支差額	41,818	121,777	△ 79,959				
教育活動外収支	受取利息・配当金	394,380	348,539	45,840	借入金等利息	-	-	-
	その他の教育活動外収入	-	-	-	その他の教育活動外支出	-	-	-
	教育活動外収入計	394,380	348,539	45,840	教育活動外支出計	-	-	-
	教育活動外収支差額	394,380	348,539	45,840				
経常収支差額	436,198	470,317	△ 34,119					
特別支出	資産売却差額	197,550	197,551	△ 1	資産処分差額	63,640	41,282	22,357
	その他の特別収入	53,976	59,102	△ 5,126	その他の特別支出	-	-	-
	特別収入計	251,526	256,653	△ 5,127	特別支出計	63,640	41,282	22,357
	特別収支差額	187,886	215,370	△ 27,484				
				予備費	(10,000) 90,000		90,000	

基本金組入前当年度収支差額	534,084	685,688	△ 151,604
基本金組入額	△ 2,146,368	△ 2,191,217	44,849
当年度収支差額	△ 1,612,284	△ 1,505,529	△ 106,754
前年度繰越収支差額	2,001,813	2,001,813	
翌年度繰越収支差額	389,529	496,284	△ 106,755

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

## (3) 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	38,849,832	固定負債	1,568,293
有形固定資産	17,797,341	退職給与引当金	1,568,293
土地	409,065	流動負債	2,342,979
建物	11,669,554	未払金	745,336
構築物	1,114,547	前受金	1,385,996
教育研究用・管理用機器備品	378,771	預り金	211,645
図書	4,225,402	負債の部合計	3,911,272
車両	0		
建設仮勘定	0		
特定資産	19,896,084		
第2号基本金引当特定資産	796,427		
第3号基本金引当特定資産	4,348,769		
退職給与引当特定資産	1,568,293		
その他の特定資産	13,182,594		
その他の固定資産	1,156,405		
有価証券	9,500		
収益事業元入金	1,022,409		
長期貸付金	48,969		
その他	75,525		
流動資産	2,309,326		
現金預金	2,043,307		
未収入金	93,279		
有価証券	163,809		
その他	8,929		
資産の部合計	41,159,158	負債及び純資産の部合計	41,159,158

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

## (4) 2021年度 財産目録(要約)

(単位:千円)

科目	数量等	価額
基本財産		17,872,854 千円
土地	181,165.87 m <sup>2</sup>	409,065 千円
建物	78,870.92 m <sup>2</sup>	11,669,554 千円
構築物	203 件	1,114,547 千円
教具・工具・備品	6,088 点	378,771 千円
図書	805,620 点	4,225,402 千円
その他		75,512 千円
運用財産		22,263,894 千円
長期貸付金		48,969 千円
特定資産		19,896,084 千円
現金預金		2,043,307 千円
未収入金		93,279 千円
有価証券		173,309 千円
その他		8,943 千円
収益事業用財産		998,149 千円
資産合計		41,134,899 千円
固定負債		1,568,293 千円
退職給与引当金		1,568,293 千円
流動負債		2,342,979 千円
未払金		745,336 千円
前受金		1,385,996 千円
預り金		211,645 千円
収益事業用負債		6,824 千円
負債合計		3,918,097 千円
正味財産(資産合計 - 負債合計)		37,216,801 千円

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

## (5) 有価証券の状況

## ①総括表

(単位 円)

	当年度 (2022年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	4,608,005,074	9,115,599,819	4,507,594,745
(うち満期保有目的の債券)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	5,166,046,623	5,007,939,151	△ 158,107,472
(うち満期保有目的の債券)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
合 計	9,774,051,697	14,123,538,970	4,349,487,273
(うち満期保有目的の債券)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
時価のない有価証券	13,302,500		
有価証券合計	9,787,354,197		

## ②明細表

(単位 円)

	当年度 (2022年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時価	差額
債券	8,338,115,000	8,320,525,200	△ 17,589,800
株式	354,174,524	4,812,814,369	4,458,639,845
投資信託	1,081,762,173	990,199,401	△ 91,562,772
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	9,774,051,697	14,123,538,970	4,349,487,273
時価のない有価証券	13,302,500		
有価証券合計	9,787,354,197		

## (6) 借入金の状況

該当事項なし

## (7) 学校債の状況

該当事項なし

(8) 関連当事者等の取引の状況

① 関連当事者

該当事項なし

② 出資会社

(2) 学校法人の出資による会社に係る事項

当該学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名 称	株式会社 武蔵エンタープライズ			
事 業 内 容	教育・研究開発に関する技術・情報・調査の仲介斡旋およびコンサルタント業務			
資 本 金	9,500,000円	190株		
学 校 法 人 の 出 資 状 況	9,500,000円	当該会社の出資に占める割合		100%
出 資 の 状 況	平成20年6月20日	9,500,000円	190株	
当期中に学 校法人が受 入れた配当 及び寄附の 金額並びに 学校法人と の資金、取 引等の状況	(単位 円)			
	当該会社からの受入額	寄付金	40,000,000	
		施設設備利用料等	10,745,430	
	当該会社への支払額	委託費等	316,078,745	
		物品購入等	8,487,558	
	(単位 円)			
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	9,500,000	0	0	9,500,000
当該会社への未払金	28,827,417	28,827,417	38,867,490	38,867,490
保証債務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

## (9) 財務比率

## 【事業活動収支計算書関係比率】

比率	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度全国平均 (医歯系法人除く)
人件費比率	人件費÷経常収入	49.0%	50.3%	50.6%	49.9%	50.6%	51.8%
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	60.2%	63.4%	64.2%	65.7%	66.7%	69.6%
教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入	33.6%	33.6%	30.5%	33.5%	34.3%	35.2%
管理経費比率	管理経費÷経常収入	6.3%	6.4%	6.6%	7.7%	9.0%	8.2%
借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入	12.3%	7.8%	13.5%	9.3%	8.6%	5.2%
基本金組入後収支比率	事業活動支出÷(事業活動収入-基本金組入額)	92.5%	109.7%	106.2%	93.9%	126.0%	105.8%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金÷経常収入	81.4%	79.4%	78.8%	76.0%	75.8%	74.4%
寄付金比率	寄付金÷事業活動収入	3.7%	2.7%	2.8%	3.7%	2.9%	2.3%
経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金÷経常収入	2.2%	2.2%	2.4%	2.5%	2.5%	1.6%
補助金比率	補助金÷事業活動収入	6.3%	6.2%	6.8%	10.1%	10.4%	14.1%
経常補助金比率	教育活動収支の補助金÷経常収入	6.0%	6.1%	6.9%	9.9%	10.5%	13.9%
基本金組入率	基本金組入額÷事業活動収入	5.2%	15.9%	18.6%	3.4%	27.4%	10.4%
減価償却額比率	減価償却額÷経常支出	11.6%	11.6%	11.5%	11.1%	11.1%	11.7%
経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入	11.2%	9.7%	12.3%	8.9%	6.1%	4.6%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入	7.8%	6.0%	8.4%	3.8%	1.6%	3.0%

## 【活動区分資金収支計算書関係比率】

比率	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度全国平均 (医歯系法人除く)
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額÷教育活動資金収入計	15.9%	11.3%	18.9%	19.1%	16.1%	14.6%

## 【貸借対照表関係比率】

比率	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度全国平均 (医歯系法人除く)
固定資産構成比率	固定資産÷総資産	91.1%	92.4%	94.8%	94.0%	94.4%	86.3%
有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	48.9%	47.4%	45.1%	43.1%	43.2%	59.1%
特定資産構成比率	特定資産÷総資産	38.3%	41.2%	45.5%	46.4%	48.3%	22.4%
流動資産構成比率	流動資産÷総資産	8.9%	7.6%	5.2%	6.0%	5.6%	13.7%
固定負債構成比率	固定負債÷(総負債+純資産)	4.3%	4.1%	3.9%	3.9%	3.8%	6.8%
流動負債構成比率	流動負債÷(総負債+純資産)	5.6%	4.9%	4.5%	5.1%	5.7%	5.3%
内部留保資産比率	(運用資産-総負債)÷総資産	37.6%	39.7%	43.2%	44.8%	44.2%	26.4%
運用資産余裕比率	(運用資産-外部負債)÷経常支出	252.7%	254.6%	289.2%	297.2%	294.3%	2.0%
純資産構成比率	純資産÷(総負債+純資産)	90.1%	91.0%	91.6%	91.0%	90.5%	87.9%
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷(総負債+純資産)	6.8%	5.1%	3.9%	5.0%	1.2%	-15.3%
固定比率	固定資産÷純資産	101.2%	101.6%	103.4%	103.3%	104.3%	98.2%
固定長期適合率	固定資産÷(純資産+固定負債)	96.6%	97.2%	99.2%	99.1%	100.1%	91.2%
流動比率	流動資産÷流動負債	157.1%	154.7%	116.7%	116.4%	98.6%	256.6%
総負債比率	総負債÷総資産	9.9%	9.0%	8.4%	9.0%	9.5%	12.1%
負債比率	総負債÷純資産	11.0%	9.9%	9.2%	9.9%	10.5%	13.8%
前受金保有率	現金預金÷前受金	247.6%	206.6%	164.6%	155.8%	147.4%	358.5%
退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産÷退職給与引当金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	72.1%
基本金比率	基本金÷基本金要組入額	99.3%	99.9%	99.9%	99.9%	99.3%	97.2%
減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価格 (土地・図書を除く)	45.0%	46.2%	48.5%	50.8%	50.6%	53.2%
積立率	運用資産÷要積立額	122.6%	117.6%	113.6%	118.0%	109.1%	78.0%

注:「2020年度全国平均」欄は、日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和3年度版より転記(令和2年度:全国大学法人平均(医歯系除く))

## (10)貸借対照表の推移

## 5年連続貸借対照表

(単位:千円)

資産の部 科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	残高	残高	残高	残高	残高
固定資産	34,535,124	35,286,347	37,055,002	37,775,388	38,849,832
有形固定資産	18,536,622	18,116,073	17,630,706	17,313,270	17,797,341
土地	409,065	409,065	409,065	409,065	409,065
建物	12,654,811	12,042,605	11,507,308	11,023,724	11,669,554
構築物	1,006,109	1,164,080	1,119,352	1,037,736	1,114,547
教育研究用機器備品	371,197	369,249	401,751	376,440	353,056
船艇	-	-	-	0	0
管理用機器備品	22,132	26,303	24,890	21,995	25,715
図書	4,057,717	4,104,612	4,148,538	4,182,813	4,225,402
車両	4,512	156	0	0	0
建設仮勘定	11,076	-	19,800	261,495	-
特定資産	14,521,790	15,721,745	17,777,580	18,625,886	19,896,084
第2号基本金引当特定資産	-	1,000,000	2,000,000	1,706,183	796,427
第3号基本金引当特定資産	1,548,769	1,548,769	1,948,769	2,248,769	4,348,769
学園資金引当特定資産	51,707	52,333	52,982	53,628	54,361
学園受贈株式配当資金特定資産	397,504	522,419	660,456	852,403	239,276
退職給与引当特定資産	1,627,932	1,565,751	1,526,471	1,549,664	1,568,293
根津嘉一郎顕彰教育資金引当特定資産	63,158	66,127	69,205	72,268	75,746
有馬朗人記念資金引当特定資産	-	-	-	-	9,274
大学地方学生奨励奨学金資金引当特定資産	7,007	7,507	8,307	10,876	12,671
野澤奨学金資金引当特定資産	4,100	3,400	2,900	2,400	1,700
研究奨励鈴木資金引当特定資産	2,273	2,303	2,333	2,314	2,349
大学施設整備資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
ロンドン大学留学期間引当特定資産	-	-	7,000	17,241	17,632
武漢大学白雉奨学金資金引当特定資産	-	-	-	10,000	8,800
大学家計急変奨学金資金引当特定資産	-	-	-	4,525	4,125
高中国外研修制度奨学金資金引当特定資産	-	-	-	9,745	13,148
高中国内活動チャレンジ奨学金資金引当特定資産	-	-	-	2,760	5,392
高中国内活動チャレンジ奨学金資金引当特定資産	-	-	-	2,854	6,084
高中REDプログラム支援資金引当特定資産	-	-	-	60,544	85,298
高中家計急変奨学金資金引当特定資産	-	-	-	6,401	5,678
高校・中学奨学金資金引当特定資産	4,727	3,729	5,544	-	-
高校海外直接進学奨励基金引当特定資産	126,429	119,051	125,770	127,654	131,026
高中プール改築資金引当特定資産	10,086	10,086	10,086	10,086	10,086
減価償却引当特定資産	10,378,091	10,520,264	11,057,751	11,575,563	12,199,940
その他の固定資産	1,476,712	1,448,528	1,646,715	1,836,231	1,156,405
電話加入権	2,888	2,888	2,888	2,888	2,888
ソフトウェア	37,499	24,435	15,921	9,077	72,624
有価証券	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
特定金銭信託	305,225	305,225	526,362	733,835	-
収益事業元入金	1,022,409	1,022,409	1,022,409	1,022,409	1,022,409
長期貸付金	99,036	83,917	69,481	58,401	48,969
預託金	118	118	118	118	118
敷金・保証金	33	33	33	-	-
流動資産	3,355,789	2,897,673	2,052,101	2,393,739	2,309,326
現金預金	3,112,442	2,470,705	1,817,646	2,041,050	2,043,307
未収入金	155,133	329,354	184,205	169,983	93,279
有価証券	79,580	79,580	41,627	175,965	163,809
前払金	8,633	18,033	8,622	6,740	8,929
資産の部 合計	37,890,913	38,184,020	39,107,103	40,169,128	41,159,158

負債の部 科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	残高	残高	残高	残高	残高
固定負債	1,627,932	1,565,751	1,526,471	1,549,664	1,568,293
退職給与引当金	1,627,932	1,565,751	1,526,471	1,549,664	1,568,293
流動負債	2,135,687	1,872,817	1,758,059	2,057,265	2,342,979
未払金	634,250	405,066	356,291	418,350	745,336
前受金	1,257,195	1,195,639	1,104,176	1,310,270	1,385,996
預り金	244,242	272,112	297,591	328,645	211,645
負債の部合計	3,763,620	3,438,569	3,284,530	3,606,930	3,911,272
基本金	31,540,732	32,806,200	34,287,219	34,560,384	36,751,601
第1号基本金	29,546,962	29,812,430	29,893,449	30,160,430	31,161,405
第2号基本金	-	1,000,000	2,000,000	1,706,183	796,427
第3号基本金	1,548,769	1,548,769	1,948,769	2,248,769	4,348,769
第4号基本金	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000
繰越収支差額	2,586,560	1,939,250	1,535,354	2,001,813	496,284
翌年度繰越収支差額	2,586,560	1,939,250	1,535,354	2,001,813	496,284
純資産の部合計	34,127,293	34,745,451	35,822,573	36,562,197	37,247,886
負債及び純資産の部合計	37,890,913	38,184,020	39,107,103	40,169,128	41,159,158

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。



## (11) 事業活動収支の推移

## 2017～2021年度連続事業活動収支計算書

(単位:千円)

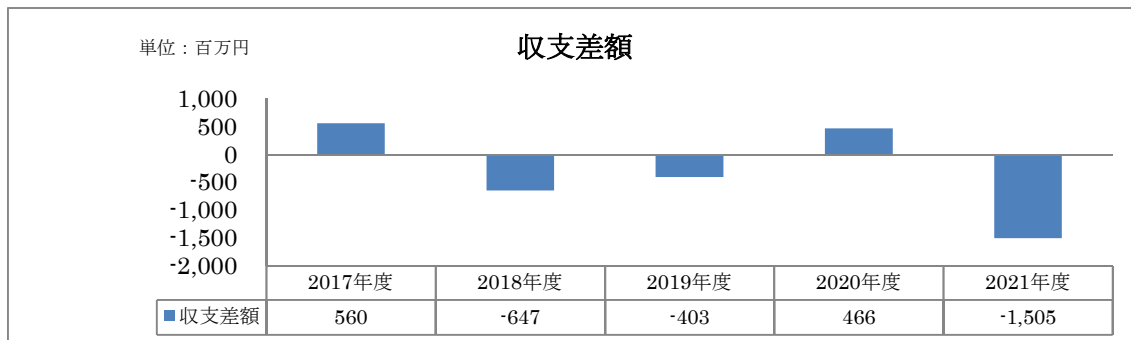
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
科目		金額	金額	金額	金額	金額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	6,304,233	6,275,439	6,151,931	5,935,198	5,859,640
		手数料	343,829	350,056	337,256	289,523	331,736
		寄付金	171,339	172,403	187,804	198,320	193,213
		経常費等補助金	462,521	483,781	538,577	775,869	813,155
		付随事業収入	34,529	45,435	51,282	45,946	45,504
		雑収入	146,232	267,218	210,235	160,014	138,877
		教育活動収入計	7,462,685	7,594,334	7,477,088	7,404,872	7,382,127
	支出	人件費	3,795,061	3,978,645	3,950,048	3,901,256	3,909,605
		教育研究経費	2,602,638	2,656,270	2,385,550	2,620,117	2,655,160
		管理経費	485,172	506,333	515,754	600,308	695,584
		徴収不能額等	46	280	467	-	-
		教育活動支出計	6,882,919	7,141,529	6,851,821	7,121,682	7,260,350
	教育活動収支差額		579,766	452,805	625,267	283,189	121,777
	教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	286,380	311,096	332,770	405,565
その他の教育活動外収入			-	-	-	3,756	-
教育活動外収入計			286,380	311,096	332,770	409,321	348,539
支出		借入金等利息	-	-	-	-	-
		その他の教育活動外支出	793	-	796	-	-
		教育活動外支出計	793	-	796	-	-
教育活動外収支差額		285,586	311,096	331,973	409,321	348,539	
経常収支差額		865,353	763,901	957,240	692,511	470,317	
特別収支	収入	資産売却差額	6,200	-	115,000	26,582	197,551
		その他の特別収入	156,098	56,178	40,203	121,441	59,102
		特別収入計	162,299	56,178	155,204	148,023	256,653
	支出	資産処分差額	53,502	201,922	35,322	69,972	41,282
		その他の特別支出	-	-	-	30,937	-
		特別支出計	53,502	201,922	35,322	100,910	41,282
	特別収支差額		108,796	△ 145,744	119,881	47,113	215,370
基本金組入前当年度収支差額		974,150	618,157	1,077,122	739,624	685,688	
基本金組入額合計		△ 413,492	△ 1,265,467	△ 1,481,019	△ 273,164	△ 2,191,217	
当年度収支差額		560,657	△ 647,309	△ 403,896	466,459	△ 1,505,529	
前年度繰越収支差額		2,025,903	2,586,560	1,939,250	1,535,354	2,001,813	
基本金取崩額		-	-	-	-	-	
翌年度繰越収支差額		2,586,560	1,939,250	1,535,354	2,001,813	496,284	
事業活動収入計		7,911,365	7,961,609	7,965,062	7,962,216	7,987,321	
事業活動支出計		6,937,215	7,343,451	6,887,940	7,222,592	7,301,633	

※千円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合がある。

(12) 5年間(2017年度～2021年度)の収支の推移

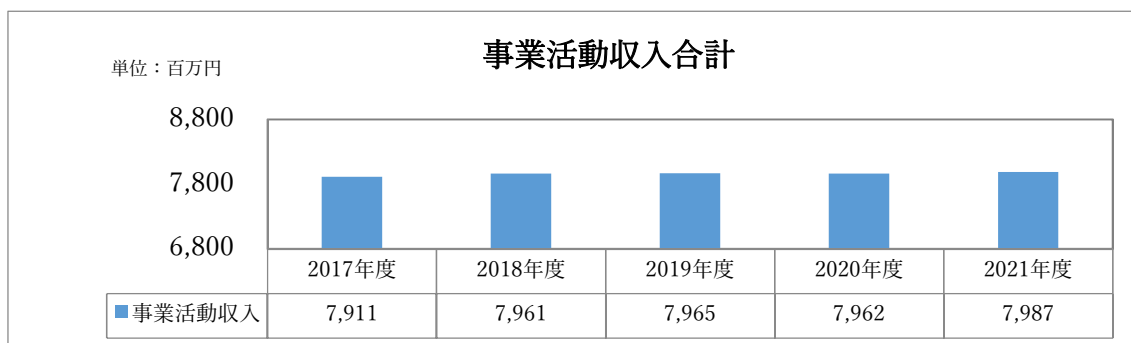
(100万円未満切り捨てで表示)

(1) 収支差額の推移



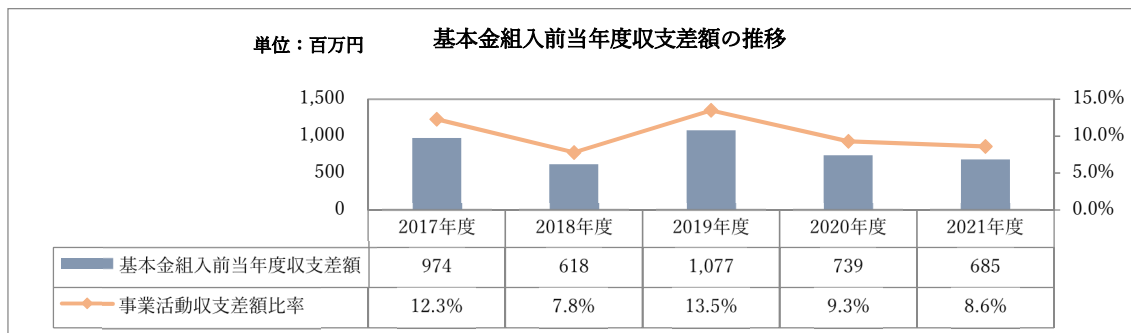
・収支差額：基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した金額です。事業活動収入・支出と基本金組入額の計上時期が必ずしも期間対応していないため、その相違によって単年度では収支差額がプラスになったり、マイナスになったりします。特に新規固定資産の購入が大きい場合には単年度では収支差額が大きくマイナスになります。

(2) 事業活動収入の推移



・学校法人の負債とならない収入です。具体的には、教育活動収入、教育外活動収入、特別収入の合計額です。

(3) 当年度基本金組入前当年度収支差額の推移



・基本金組入前当年度収支差額：事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額のことで。

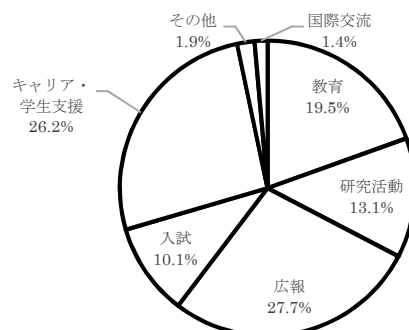
(13) 目的別支出の概要

2021 年度資金収支計算書における目的別総支出額は、3,919,186 千円です。内訳は、教育研究経費支出 1,879,481 千円、管理経費支出 662,471 千円、施設関係支出 1,190,633 千円、設備関係支出 186,600 千円となりました。

また、各内訳は、大学関連 1,077,083 千円、高校・中学関連 122,009 千円、本部関係 2,720,093 千円です。

1. 大学関連(決算:1,077,083 千円)

大学関連の支出内訳は、教育 19.5%、研究活動 13.1%、広報 27.7%、入試 10.1%、キャリア・学生支援 26.2%、国際交流 1.4%、その他 1.9%となりました。



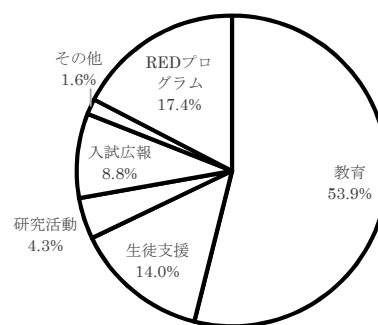
※人件費除く

<主な内容>

分類	内容	具体例
教育	授業運営に関する費用	履修支援(システム含む)、図書館運営、グローバル教育経費、教職・学芸員課程経費
キャリア・学生支援	学生の就職支援、および課外活動への支援に関する費用	キャリアガイダンス、インターンシップ、各種奨学金、ゼミ大会や課外活動等への援助金、保健相談
広報	入試広報に関する費用	オープンキャンパス、進路説明会、大学案内、受験雑誌への掲載、ホームページ、駅看板、車内広告
研究	教員・大学院生への研究支援に関する費用	個人研究費、学会研究旅費
入試	入試実施等に関する費用	入試システム、入試実施に係る経費
国際交流	国際交流に関する費用	外国語学習に係る奨学金、海外大学視察、海外フィールドワーク及び実習
その他		公開講座等、各種講座開催費、卒業生向け行事、授業評価、学園運営に係る研修調査経費等

2. 高校・中学関連(決算:122,009 千円)

高校・中学関連の支出内訳は、教育 53.9%、生徒支援 14.0%、研究活動 4.3%、入試広報 8.8%、RED プログラム 17.4%、その他 1.6%となりました。



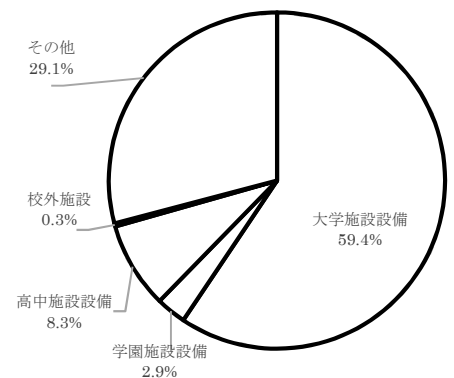
※人件費除く

<主な内容>

分類	内容	具体例
教 育	授業運営に関する費用	山上学校、スキー実習、天文実習、総合学習、実験用品、図書室に関する費用、各教科研究室の教育支援経費
生徒支援	学生の課外活動への支援に関する費用	奨学金、部活動への援助金、
研 究	教員への研究支援に関する費用	個人研究費
入 試 広 報	入試及び広報に関する費用	入試関係書籍、学校説明会、入試準備経費
REDプログラム	REDプログラムに関する費用	講師料、教材などの消耗品、
そ の 他		外部との情報交換、講演会経費、ご父母懇談等

3.本部関連(決算:2,720,093 千円)

本部関連の支出内訳は、施設設備関連 70.9%(大学施設設備 59.4%、学園施設設備 2.9%、高中施設設備 8.3%、校外施設 0.3%)、その他 29.1%となりました。



※人件費除く

<主な内容>

分類	内容	具体例
施設設備	校舎、教室等に関連する施設設備および維持管理費用	校舎等の建築費用、修理費、光熱水費、廃棄物処理、清掃、エレベーター保守点検等の施設維持費用
インフラ整備	学園(大学・高校・中学)全体のインフラ整備	教職員、教室等に関する情報インフラ整備、ネットワーク関連費用
そ の 他	学園(大学・高校・中学)全体の管理部門に関する費用	役員、総務・財務に関する費用、防災、警備、福利に関する費用、募金活動、派遣職員の費用、資産運用に関する費用

以 上

## § 参考データ

### 1 学生・生徒数

(1)2017～2021年度 入学定員、収容定員及び比率（大学院、大学、高等学校、中学校）

		入学定員(a)	志願者数	入学者数(b)	(b)/(a)	編入学者数	収容定員(c)	現員(d)	(d)/(c)
大学院	2021年度	51	35	8	0.16	—	119	31	0.26
	2020年度	51	43	12	0.24	—	119	41	0.34
	2019年度	51	32	18	0.35	—	119	37	0.31
	2018年度	51	28	13	0.25	—	119	30	0.25
	2017年度	51	22	11	0.22	—	119	33	0.28
大学	2021年度	999	16,224	1,162	1.16	9	3,996	4,381	1.10
	2020年度	999	19,655	948	0.95	9	3,996	4,490	1.12
	2019年度	999	19,713	1,019	1.02	7	3,947	4,726	1.20
	2018年度	999	18,928	1,080	1.08	7	3,878	4,863	1.25
	2017年度	999	17,968	1,309	1.31	8	3,809	4,895	1.29
高等学校	2021年度	160	175	175	1.09	—	480	513	1.07
	2020年度	160	174	174	1.09	—	480	514	1.07
	2019年度	160	171	171	1.07	—	480	511	1.06
	2018年度	160	174	174	1.09	—	480	517	1.08
	2017年度	160	174	174	1.09	—	480	513	1.07
中学校	2021年度	160	584	176	1.10	—	480	527	1.10
	2020年度	160	601	176	1.10	—	480	525	1.09
	2019年度	160	579	176	1.10	—	480	525	1.09
	2018年度	160	548	176	1.10	—	480	526	1.10
	2017年度	160	592	175	1.09	—	480	525	1.09

※各年度とも5月1日現在の人数を記載。

## (2)2017～2021年度 学生・生徒在籍者数一覧

			2021年度		2020年度		2019年度		2018年度		2017年度		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
大学	経済学部	経済学科	477	177	521	183	549	199	591	194	601	186	
			654		704		748		785		787		
		経営学科	438	238	433	249	443	278	466	296	494	292	
			676		682		721		762		786		
		金融学科	395	108	428	112	473	118	452	125	468	112	
		503		540		591		577		580			
		計	1,310	523	1,382	544	1,465	595	1,509	615	1,563	590	
			1,833		1,926		2,060		2,124		2,153		
		人文学部	英米比較文化学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			0		0		0		0		0		
			ヨーロッパ比較文化学科	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
			0		0		1		1		1		
			日本・東アジア比較文化学科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
			0		0		0		0		1		
			英語英米文化学科	223	300	204	311	201	331	188	349	183	347
				523		515		532		537		530	
		ヨーロッパ文化学科	195	257	203	264	201	288	188	306	153	325	
			452		467		489		494		478		
		日本・東アジア文化学科	179	289	172	291	169	327	180	350	195	341	
			468		463		496		530		536		
	計	597	846	579	866	572	946	557	1,005	533	1,013		
		1,443		1,445		1,518		1,562		1,546			
	社会学部	社会学科	295	311	295	325	303	326	309	333	297	352	
		606		620		629		642		649			
		メディア社会学科	207	292	206	293	208	311	213	322	213	334	
		499		499		519		535		547			
		計	502	603	501	618	511	637	522	655	510	686	
		1,105		1,119		1,148		1,177		1,196			
	大学合計		2,409	1,972	2,462	2,028	2,548	2,178	2,588	2,275	2,606	2,289	
		4,381		4,490		4,726		4,863		4,895			
大学院	経済学研究科	博士前期	3	5	7	7	6	5	2	3	3	4	
			8		14		11		5		7		
		博士後期	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
		2		1		1		1		1			
		計	5	5	8	7	7	5	3	3	4	4	
			10		15		12		6		8		
	人文科学研究科	博士前期	3	10	7	10	9	7	7	8	10	9	
			13		17		16		15		19		
		博士後期	3	5	3	6	3	6	4	5	1	5	
			8		9		9		9		6		
	計	6	15	10	16	12	13	11	13	11	14		
		21		26		25		24		25			
	大学院合計		11	20	18	23	19	18	14	16	15	18	
		31		41		37		30		33			
高等学校			513	—	514	—	511	—	517	—	513	—	
		513		514		511		517		513			
中学校			527	—	525	—	525	—	526	—	525	—	
		527		525		525		526		525			
合計			3,460	1,992	3,519	2,051	3,603	2,196	3,645	2,291	3,659	2,307	
		5,452		5,570		5,799		5,936		5,966			

※各年度とも5月1日現在の人数を記載。人文学部は2011年に改組。

## (3) 累計卒業生数(大学、高等学校)

## ①大学

学部	学科	累計
経済学部	経済学科	13,790
	経営学科	11,936
	金融学科	2,839
	計	28,565
人文学部	英米英米文化学科	906
	ヨーロッパ文化学科	859
	日本・東アジア文化学科	909
	英米比較文化学科	643
	ヨーロッパ比較文化学科	589
	日本・東アジア比較文化学科	614
	欧米文化学科	5,905
	日本文化学科	4,001
	比較文化学科	525
	社会学科	3,972
計	18,923	
社会学部	社会学科	3,114
	メディア社会学科	1,729
	計	4,843
大学合計		52,331

## ②高等学校

旧制高等学校(第1期～23期)	2,075
新制高等学校(第24期～)	12,005
高等学校合計	14,080

## (4) 大学院学位授与状況

## ①修士学位授与者数[大学院博士前期課程(修士課程)]

		2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
経済学研究科	経済・経営・ファイナンス専攻	男	1	5	0	2
		女	4	1	2	1
	計	男	1	5	0	2
		女	4	1	2	1
人文科学研究科	欧米文化専攻	男	1	3	0	0
		女	1	0	0	0
	日本文化専攻	男	0	1	2	0
		女	2	2	1	2
	社会学専攻	男	1	2	1	1
		女	1	1	1	2
	計	男	2	6	3	1
		女	4	3	2	4
合計	男	3	11	3	3	
	女	8	4	4	5	
	計	11	15	7	8	

## ②博士学位授与者数

		2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
経済学研究科	博士(経済学)	課程	0	0	1	0
		論文	0	0	0	1
		計	0	0	1	1
人文科学研究科	博士(人文学)	課程	2	0	0	1
		論文	0	0	0	0
		計	2	0	0	1
	博士(社会学)	課程	0	1	0	0
		論文	0	0	1	0
		計	0	1	1	0

## 2 入試状況 (2022年4月入学生)

### (1) 大学院入試

研究科	課程	志願者数	合格者数
経済学	博士前期	9	6
	博士後期	3	1
	経済学研究科計	12	7
人文科学	博士前期	21	10
	博士後期	3	2
	人文科学研究科計	24	12

### (2) 大学入試

#### ① 一般選抜試験

##### a. 大学入学共通テスト方式(前期日程3科目型)入試

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済	経済	415	411	187	2.2
	経営	432	429	180	2.4
	金融	532	527	153	3.4
	学部計	1,379	1,367	520	2.6
人文	英語英米文化	226	225	114	2.0
	ヨーロッパ文化	258	257	100	2.6
	日本・東アジア文化	201	199	87	2.3
	学部計	685	681	301	2.3
社会	社会	535	532	195	2.7
	メディア社会	719	715	161	4.4
	学部計	1,254	1,247	356	3.5
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	83	71	31	2.3
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	362	361	65	5.6
	学部計	445	432	96	4.5
	大学計	3,763	3,727	1,273	2.9

##### b. 大学入学共通テスト方式(後期日程2科目型)入試

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済	経済	207	207	117	1.8
	経営	215	215	81	2.7
	金融	134	134	70	1.9
	学部計	556	556	268	2.1
人文	英語英米文化	116	116	90	1.3
	ヨーロッパ文化	61	61	42	1.5
	日本・東アジア文化	53	53	20	2.7
	学部計	230	230	152	1.5
社会	社会	94	94	49	1.9
	メディア社会	101	101	46	2.2
	学部計	195	195	95	2.1
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	29	19	11	1.7
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	70	70	5	14.0
	学部計	99	89	16	5.6
	大学計	1,080	1,070	531	2.0

##### c. 一般方式入試(個別学部併願3科目型)

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済	経済	444	422	101	4.2
	経営	862	825	132	6.3
	金融	659	626	109	5.7
	学部計	1,965	1,873	342	5.5
人文	英語英米文化	356	342	125	2.7
	ヨーロッパ文化	418	398	67	5.9
	日本・東アジア文化	395	374	88	4.3
	学部計	1,169	1,114	280	4.0
社会	社会	731	698	175	4.0
	メディア社会	940	909	215	4.2
	学部計	1,671	1,607	390	4.1
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	187	139	49	2.8
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	453	429	75	5.7
	学部計	640	568	124	4.6
	大学合計	5,445	5,162	1,136	4.5

##### d. 一般方式入試(全学部統一2科目型)

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済	経済	844	822	170	4.8
	経営	797	774	141	5.5
	金融	721	702	147	4.8
	学部計	2,362	2,298	458	5.0
人文	英語英米文化	390	378	100	3.8
	ヨーロッパ文化	459	447	85	5.3
	日本・東アジア文化	468	456	111	4.1
	学部計	1,317	1,281	296	4.3
社会	社会	662	638	122	5.2
	メディア社会	596	576	94	6.1
	学部計	1,258	1,214	216	5.6
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	79	53	18	2.9
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	187	173	44	3.9
	学部計	266	226	62	3.6
	大学合計	5,203	5,019	1,032	4.9



e.一般方式入試(全学部統一グローバル2科目型)

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済	経済	315	311	132	2.4
	経営	307	303	104	2.9
	金融	281	277	72	3.8
	学部計	903	891	308	2.9
人文	英語英米文化	173	167	48	3.5
	ヨーロッパ文化	160	155	87	1.8
	日本・東アジア文化	150	147	84	1.8
	学部計	483	469	219	2.1
社会	社会	162	159	72	2.2
	メディア社会	165	161	59	2.7
	学部計	327	320	131	2.4
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	77	44	27	1.6
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	284	275	69	4.0
	学部計	361	319	96	3.3
	大学合計	2,074	1,999	754	2.7

②総合型選抜 AO入学試験

学部	学科	志願者数	合格者数
経済	学部計	181	103
人文	英語英米文化	45	34
	ヨーロッパ文化	15	11
	日本・東アジア文化	33	13
	学部計	93	58
社会	社会	37	4
	メディア社会学科	21	5
	学部計	58	9
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	14	10
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	80	29
	学部計	94	39
	大学合計	426	209

③特別入学試験(外国高等学校卒業・帰国生徒、社会人、外国人学生)

学部	学科	志願者数	合格者数
経済	経済	0	0
	経営	2	1
	金融	1	1
	学部計	3	2
人文	英語英米文化	3	1
	ヨーロッパ文化	1	0
	日本・東アジア文化	35	5
	学部計	39	6
社会	社会	8	3
	メディア社会	2	1
	学部計	10	4
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻	4	3
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	6	2
	学部計	10	5
	大学合計	62	17

④特別入学試験(編転・学士)

学部	学科	志願者数	合格者数
経済	経済	1	0
	経営	5	3
	金融	1	0
	学部計	7	3
人文	英語英米文化	8	5
	ヨーロッパ文化	1	1
	日本・東アジア文化	1	1
	学部計	10	7
社会	社会	6	0
	メディア社会	4	0
	学部計	10	0
大学合計	27	10	

※国際教養学部は募集なし

(3) 中学入試

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
志願者	640	584	601	579	548
受験者	626	574	580	569	541
入学者	176	176	176	176	176

### 3 進路状況

#### (1) 大学

##### 2021年度卒業生 就職状況

	卒業者数	就職希望者数(A)	就職者数(B)	就職率(B/A)	前年度比(ポイント)
大学合計	1,044	932	899	96.5	0.2
経済学部	437	400	388	97.0	-0.1
人文学部	352	302	290	96.0	1.5
社会学部	255	230	221	96.1	-0.9
男子合計	530	465	440	94.6	-1.1
女子合計	514	467	459	98.3	1.3

※2021年9月卒業生含む

##### 2021年度卒業生 主要就職先

■建設:一条工務店、共同エンジニアリング、清水建設、新菱冷熱工業、ダイダシ、竹中土木、東京セキスイハイム、東建コーポレーション、東洋熱工業、日本コムシス、日本ハウスホールディングス、フィル・カンパニー、ポラス、ライクス

■製造:[食品]キユーピー、コカ・コーラボトラーズジャパン、フジフーズ、プリマハム、森永製菓、山崎製パン [繊維工業]日本バイリーン [アパレル]FABRIC TOKYO、ワコール [印刷・製本]ITP、クラウン・パッケージ、プロネクサス [化学工業]アース製薬、花王プロフェッショナル・サービス、サンスター、ロクシタンジャパン [鉄鋼業]産業振興 [生産用・業務用機械器具]アマダ、SMC、小森コーポレーション、フクシマガリレイ、ペガサスミシン製造、三井精機工業 [電気・情報通信機械器具]沖電気工業、小野測器、オリエンタルモーター、河村電器産業、京セラ、共和電業、鷲宮製作所、スタンレー電気、日本電子、能美防災、パナソニックシステムソリューションズジャパン、富士通ゼネラル、ホーチキ、明電舎 [輸送用機械器具]スズキ、SUBARU、住友ナコフォークリフト、タチエス、TPR、日産車体 [電子部品・デバイス]エンプラス、日本航空電子工業、ミネベアミツミ [家具・木・紙]ウッドワン、ミヤザワ [その他製造]アイリスオーヤマ、エフピコ、クリナップ、大建工業、タカラスタANDARD、マザーハウス、美和ロック

■卸・小売:[専門商社]アイナボホールディングス、アプライドグループ、あらた、因幡電機産業、ウチダシステムズ、内田洋行、SB C&S、エトワール海渡、大塚商会、加賀電子、栗原医療器械店、ケーオーデンタル、国分グループ本社、国分首都圏、コスモ石油販売、コニカミノルタジャパン、サイサン、佐鳥電機、JKホールディングス、シャープマーケティングジャパン、新明電材、大興電子通信、ダイワボウ情報システム、高千穂交易、轟産業、トラスコ中山、NX商事、日本アクセス、日本酒類販売、パラマウントケアサービス、富士機材、三菱食品、三菱電機ライフネットワーク、メディセオ、山善、山星屋、ラネット、リコージャパン、菱電商事、渡辺パイプ [百貨店・ストア・eコマース]アスクル、イオンマーケット(ピーコックストア)、イオンリテール、イトヨーカ堂、いなげや、エムアイフーズスタイル、オーケー、スーパーバリュー、チャーム、DCM、パルコ、ファミリーマート、ベガコーポレーション、ベルーナ、ヤオコー、ライフコーポレーション、ルミネアソシエーツ [衣料品販売]adapt retailing、ZOZO、BANKANわものや [自動車・自転車販売]IDOM、トヨタモビリティ東京、ネクステージ、ネットヨタ東埼玉、ホンダカーズ東京中央 [その他小売業]As-meエステール、アップビート、魚力、エービーシー・マート、MXモバイリング、カインズ、ゲオホールディングス、さが美グループホールディングス、ジュピターショップチャンネル、スギホー

ルディングス、トレジャー・ファクトリー、ノジマ、ピーシーデポコーポレーション、ビジョナリーホールディングス、日比谷花壇、富士シティオ、マツモトキヨシ、メガネトップ、ヨドバシカメラ [銀行]日本銀行、日本政策金融公庫、りそな銀行、足利銀行、岩手銀行、群馬銀行、静岡銀行、常陽銀行、千葉銀行、筑波銀行、東和銀行、長野銀行、名古屋銀行、東日本銀行、武蔵野銀行 [信金・信組]朝日信用金庫、埼玉縣信用金庫、さわやか信用金庫、城南信用金庫、巣鴨信用金庫、多摩信用金庫、東京信用金庫、飯能信用金庫 [証券]アイザワ証券、岩井コスモ証券、FPG、岡三証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、野村証券 [保険]ジブラルタ生命保険、大樹生命保険、日本生命保険、ほけんの窓口グループ、三井住友海上あいおい生命保険、明治安田生命保険、AIG損害保険、日新火災海上保険、[クレジット・信販]オリエントコーポレーション、三井住友トラストクラブ [その他の金融]アイフル、ジェイリース、静岡県労働金庫、中央労働金庫、三菱UFJ国際投信

■不動産: APAMAN、エイブル、グッドコムアセット、住友不動産販売、タカラレーベン、東急住宅リース、東急リバブル、野村不動産パートナーズ、ハウスメイトグループ、フォーライフ、三井不動産ファシリティーズ、三井不動産リアルティ、ムゲンエステート、リロパートナーズ

■運輸・倉庫: アサヒロジスティクス、東海運、エヌ・ティ・ティ・ロジスコ、小田急交通、近鉄エクスプレス、京王バス、鴻池運輸、センコー、東京ロジファクトリー、日本通運、日本交通、東日本旅客鉄道(JR東日本)、引越社、富士ロジテックホールディングス、北海道旅客鉄道(JR北海道)、ホンダロジスティクス、丸和運輸機関、三菱ロジスネクスト

■電気・ガス: ガスパル、東京電力ホールディングス

■プラントエンジニアリング: 月島機械、メタウォーター

■情報サービス: アイエスエフネット、アウトソーシングテクノロジー、アグレックス、アルファシステムズ、インテージ、AGS、SBテクノロジー、エヌアイデイ、NECソリューションイノベータ、NECネットエスアイ、NSD、エヌ・ティ・ティ・システム開発、NTTデータ・アイ、NTTデータイントラマート、NTTデータ・ビジネス・システムズ、NTTデータ・フィナンシャルコア、NTTデータルウィープ、NTTテクノクロス、MS&ADシステムズ、オービックビジネスコンサルタント、オールアバウト、かんぽシステムソリューションズ、キーウェアソリューションズ、キャノンITソリューションズ、京セラコミュニケーションシステム、キンドリルジャパン、CLINKS、シーイーシー、CTCシステムマネジメント、CTCテクノロジー、JR東日本情報システム、JNSホールディングス、Jストリーム、システナ、ジモティー、昭和システムエンジニアリング、セールスフォース・ジャパン、セラク、ゼンリン、中央コンピュータシステム、都築テクノサービス、都築電気、ツリーベル、TIS、TISソリューションリンク、TKC、DTS、テクバン、テモナ、テラスカイ、東京ガスiネット、東芝ITサービス、東邦システムサイエンス、トータリゼータエンジニアリング、トレンドマイクロ、ナビオコンピュータ、ニューウェル、日興システムソリューションズ、日本システムウェア、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、日本コンピュータ・ダイナミクス、日本システム技術、日本総研情報サービス、日本デジタル研究所、日本テラデータ、日本ビジネスシステムズ、ネオジャパン、NEXCOシステムズ、パーソルプロセス&テクノロジー、パーチャレックス・コンサルティング、日立インフォメーションエンジニアリング、BIPROGY、フォーカスシステムズ、富士ソフト、ベアフォスターホールディングス、マクロミル、三井情報、三井住友トラスト・システム&サービス、ミロク情報サービス、明治安田システム・テクノロジー、メンバーズ、ヤマトシステム開発、ユニアデックス、ユニリタ、楽天グループ、ランサーズ、菱友システムズ、リンクレア、レイスシステムソリューションズ、Wiz

◆通信: アルテリア・ネットワークス

◆外食・フードビジネス: グレイトティーチャー、すかいらく、ゼンショーホールディングス、レパスト

■ホテル・旅館: 星野リゾート・マネジメント、ルートイングループ

- 医療・福祉:一般社団法人上尾中央医科グループ、医療法人IMSグループ、社会医療法人社団健生会、独立行政法人国立病院機構、東都保健医療福祉協議会
- 社会保険:国家公務員共済組合連合会、社会保険診療報酬支払基金、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
- 介護・保育:アズパートナーズ、クラーチ、セントケア・ホールディング、ツクイ、ニチイケアパレス、ベネッセスタイルケア、メディカル・ケア・サービス、ライクキッズ、医療法人洛和会(洛和会ヘルスケアシステム)
- 教員:群馬県公立高校、埼玉県公立高校、東京都公立高校、栃木県公立高校、埼玉県公立中学校、千葉県公立中学校、東京都公立中学校、川越東高等学校、千葉敬愛学園千葉敬愛高等学校、戸板学園三田国際学園中学校・高等学校、東海大学付属甲府高等学校、神奈川県公立小学校、千葉県公立特別支援学校
- 学校法人:駿河台学園、帝京大学、国立大学法人東京学芸大学
- その他の教育:ステップ、スプリックス、TOEZ、LITALICO
- 協同組合:いるま野農業協同組合(JAいるま野)、生活協同組合コープみらい、生活協同組合パルシステムグループ
- 公益等団体:群馬県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、日本年金機構、日本私立学校振興・共済事業団、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本赤十字社埼玉県支部
- 新聞・出版・編集:建通新聞社、時事通信社、エッジ・インターナショナル、ビーワークス
- サービス:[広告]アイデム、アイブラネット、アドウェイズ、CARTA COMMUNICATIONS、博報堂プロダクツ、PLAN-B(プランビー)、マイナビ [旅行]リゾートトラスト [リース・レンタル]アクティオ、NTTファイナンス、オリックス自動車、オリックス・レンテック、ナック、日建リース工業、みずほリース、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス、横河レンタ・リース [監査・研究・専門技術]アクセンチュア、川崎地質、辻・本郷税理士法人、帝国データバンク、東京商工リサーチ、日建設計、船井総合研究所 [娯楽・冠婚葬祭]アルファクラブ武蔵野、くらしの友、ジョイパック、ソニーミュージックグループ、高見(TAKAMI BRIDAL)、タメニー、BP、Plan・Do・See、マルハン [生活関連サービス]エム・シーネットワークスジャパン、スタジオアリス、ZEN PLACE、パナソニックLSテクノサービス、ベアーズ、メディロム、LAVA International [人材サービス]ウィルグループ、クイック、スタッフサービス、日研トータルソーシング、ネオキャリア、パーソルキャリア、パソナグループ、ビーネックステクノロジーズ、ライクスタッフイング、リクルート、ワークポート、ワールドインテック、ワールドコーポレーション [その他のサービス]ヴィアックス、エイチアールワン、エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ、LSIメディエンス、エルビーネクスト、ケー・エー・シー、シーエーシー、Suprievie、トランスコスモス、日本空調サービス、乃村工藝社、ペイロール、ベネフィット・ワン、マーキュリー、武蔵野、メタウォーターサービス、りらいあコミュニケーションズ
- 公務:[国家公務員]会計検査院、総務省、東京国税局、農林水産省 [地方公務員]茨城県庁、神奈川県庁、埼玉県庁、千葉県庁、板橋区役所、北区役所、杉並区役所、台東区役所、豊島区役所、練馬区役所、昭島市役所、小金井市役所、春日部市役所、川越市役所、鴻巣市役所、さいたま市役所、狭山市役所、所沢市役所、三郷市役所、吉川市役所、伊勢原市役所、横浜市役所、柏市役所、野田市役所、気仙沼市役所、高崎市役所、名古屋市役所、西郷村役場 [警察]警視庁、埼玉県警察本部、千葉県警察本部 [消防]花巻市消防本部、埼玉西部消防組合

## (2) 高等学校 大学進学状況 (過去5年間)

## ① 国公立大学

	2022年			2021年			2020年			2019年			2018年		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
東京大	14	5	19	23	5	28	13	8	21	10	12	22	18	9	27
東京工業大	1	1	2	3	2	5	3	4	7	4	2	6	6	2	8
京都大	4	2	6	5	9	14	5	1	6	2	6	8	7	3	10
一橋大	3	1	4	8		8	5	7	12	5	3	8	3	1	4
千葉大	1	1	2	3	4	7	3	1	4	1	2	3	1	4	5
東京外国語大				1		1	2		2		1	1		2	2
東京芸術大								1	1	1	1	2			
東京海洋大		1	1										1	1	2
東京医科歯科大	1	1	2		1	1					1	1			
東京農工大	1	1	2	2	2	4	1		1	1		1		1	1
電気通信大		1	1		3	3		1	1	1	1	2			
東京都立大	1	2	3	1		1		1	1				1	1	2
北海道大	3	1	4	1	1	2	4	4	8	3	4	7	2	4	6
旭川医科大													1		1
札幌医科大													1		1
帯広畜産大															
弘前大		1	1				1		1						
東北大	4	2	6	1	2	3	4	1	5	4	1	5	1	1	2
秋田大				1		1									
福島県立医科大					1	1		2	2		1	1			
筑波大	4	1	5	2		2	3	1	4	2	1	3	1	1	2
群馬大							1	1	2						
茨城大								1	1					1	1
埼玉大	2	1	3					1	1		1	1			
横浜国立大	2	1	3		1	1	2	1	3	1	1	2			
横浜国立大											1	1			
浜松医科大					1	1				1		1			
山梨大				2	2	4									
信州大		2	2	1		1		2	2	1	2	3			
名古屋大	1		1				1		1						
岐阜大	1		1	1	1	2									
新潟大					1	1							1		1
金沢大														1	1
富山大														1	1
福井大								1	1						
京都府立医科大							1		1						
大阪大	1		1		2	2									
大阪市立大				1		1									
神戸大				2		2					1	1		2	2
三重大								1	1						
和歌山県立医科大				1		1									
広島大							1		1		2	2			
山口大		1	1												
香川大													1		1
徳島大					1	1									
高知大	1		1					1	1						
九州大	1		1		1	1		3	3				2		2
長崎大											1	1			
佐賀大											1	1	1		1
熊本大								1	1				1		1
琉球大					1	1								1	1
小計	46	26	72	59	41	100	50	45	95	37	46	83	49	36	85

②私立大学

	2022年			2021年			2020年			2019年			2018年		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
武蔵大				4	1	5	3	1	4	2	1	3	1	2	3
早稲田大	9	7	16	14	11	25	11	4	15	13	6	19	5	7	12
慶應義塾大	13	5	18	15	3	18	7	6	13	7	5	12	8	8	16
上智大	2	1	3		1	1		2	2		1	1		1	1
明治大	2	3	5	2	2	4	3	3	6	2	2	4	2	2	4
法政大		3	3				1		1					1	1
立教大								1	1						
青山学院大	1	1	2					1	1				1	2	3
中央大		1	1	1	1	2	1	1	2	1	3	4	1	1	2
東京理科大		5	5	2	1	3		2	2		3	3	1	5	6
国際基督教大	1	1	2		1	1	1		1				1		1
日本大	1	1	2	1	3	4	4	3	7	1	3	4	1	2	3
専修大										1		1			
東洋大		1	1							2	1	3		1	1
学習院大	1	1	2				2	1	3					2	2
成城大					2	2									
成蹊大		1	1		2	2									
帝京大											1	1			
拓殖大					1	1									
武蔵野大											1	1			
国学院大										1		1			
昭和大					1	1		1	1	1	1	2			
東邦大					2	2	1		1				1	1	2
杏林大		1	1				1	2	3						
立正大														1	1
明治学院大	1		1												
大東文化大		1	1												
東京農業大		1	1	2		2							1		1
工学院大								1	1						
芝浦工業大		2	2					3	3		2	2		1	1
東京工科大					1	1									
東京慈恵会医科大				1		1		1	1					1	1
東京医科大		1	1		1	1				1	1	2		1	1
日本医科大					1	1	2		2	2		2			
獨協医科大		1	1								1	1		1	1
東海大					1	1									
産業医科大学														1	1
自治医科大学														1	1
順天堂大					1	1	1		1	1	1	2		1	1
北里大								1	1	2		2			
聖マリアンナ医科大	1		1												
明海大				1		1									
明治薬科大										1		1			
多摩美術大										1		1			
武蔵野美術大	1		1	2	1	3				1		1			
東京造形大										1		1			
東京工芸大							1		1						
武蔵野音楽大							1		1						
岩手医科大学		1	1												
東北医科薬科大								1	1	1		1		1	1
埼玉医科大										1		1			
日本獣医生命科学大				1		1	1		1	1		1			
同志社大		1	1		2	2				1		1		1	1
関西学院大											1	1			
小計	33	40	73	46	40	86	41	35	76	44	34	78	23	45	68

③海外の大学

	2022年			2021年			2020年			2019年			2018年		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
ブラウン大(米)													1		1
カリフォルニア大(米)														1	1
オークランド工科大(新)											1	1			
キロム工科大(東)										1		1			
ローレンス大(米)							1		1	1		1			
サウサンプトン大(英)				1		1									
エジンバラ大(英)				1		1									
ミシガン大(米)				1		1									
パデュー大(米)	1		1												
小計	1		1	3		3	1		1	2	1	3	1	1	2

(注)新:ニュージーランド、東:カンボジア

④準大学

	2022年			2021年			2020年			2019年			2018年		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
防衛大															
防衛医科大											1	1	1		1
気象大															
小計											1	1	1		1

⑤総合計

	2022年			2021年			2020年			2019年			2018年		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
総合計	80	66	146	108	81	189	92	80	172	83	82	165	74	82	156

※毎年、合格者数ではなく進学者数を公表している。この方針は今後も変わらない。

## 4 図書館統計

### (1) 大学図書館

#### ①2021年度蔵書統計

(単位:冊数)

		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術	言語	文学	整理冊数計
和書	購入	726	198	457	1,879	263	137	169	408	204	589	5,030
	寄贈	45	57	355	485	45	72	87	1,457	2	109	2,714
	遡及	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	除籍	3	9	11	51	68	3	6	3	5	161	320
	年度計	768	246	801	2,313	240	206	250	1,862	201	537	7,424
	前年度累計	58,379	28,534	59,961	194,349	40,255	17,943	23,647	40,026	24,578	80,907	568,579
	総累計	59,147	28,780	60,762	196,662	40,495	18,149	23,897	41,888	24,779	81,444	576,003

		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術	言語	文学	整理冊数計
洋書	購入	56	88	130	450	25	21	16	120	63	193	1,162
	寄贈	7	15	29	79	8	5	6	20	0	23	192
	遡及	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	除籍	1	0	0	1	3	0	1	0	6	1	13
	年度計	62	103	159	528	30	26	21	140	57	215	1,341
	前年度累計	19,019	11,952	11,933	87,876	7,026	3,775	5,282	11,367	11,400	51,068	220,698
	総累計	19,081	12,055	12,092	88,404	7,056	3,801	5,303	11,507	11,457	51,283	222,039

総累計(和洋)		78,228	40,835	72,854	285,066	47,551	21,950	29,200	53,395	36,236	132,727	798,042
---------	--	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------

#### ②入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	2,533	2,396	5,839	5,886	1,143	2,050	7,007	10,033	7,758	5,639	1,466	1,299	53,049
2020年度	81	11	91	274	278	809	1,123	2,371	1,494	825	625	536	8,518
2019年度	17,248	19,605	18,852	24,233	3,722	11,951	20,131	21,200	16,140	16,676	4,452	2,780	176,990

#### ③利用者別館外貸出

	経済学部	人文学部	社会学部	大学院生	大学 専任教員	五大学 (学習院・成蹊・ 成城・甲南)	大学卒業生	練馬区 特別履修生	練馬区民	高校中学	その他	合計
2021年度	1,526	15,505	7,834	1,113	2,496	0	0	39	0	816	2,595	31,924
2020年度	806	10,354	4,590	1,232	1,986	0	0	0	0	335	1,606	20,909
2019年度	4,585	26,181	11,593	3,912	2,730	86	217	77	0	2,000	5,652	57,033

#### ④レファレンス申込件数

	大学生	大学院生	教職員	その他	合計
2020年度	560	34	306	91	669
2019年度	299	51	247	72	1,084
2018年度	713	53	210	108	1,393

#### ⑤相互協力

	図書借受	図書貸出	複写依頼	複写受付	紹介状発行	紹介状受付
2021年度	194	356	262	279	1	0
2020年度	113	247	184	175	0	0
2019年度	195	345	187	146	13	30

### (2) 高等学校中学校図書館

#### ①分野別蔵書冊数

分野	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術	言語	文学	合計
冊数	7,924	3,748	13,198	10,627	21,818	3,581	1,971	10,130	6,422	17,916	97,335

#### ②分野別貸出冊数

分野	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術	言語	文学	合計
冊数	131	180	344	313	654	120	88	171	324	463	2,788



## 5 役員・教職員の概要

### (1) 役員・教職員数

#### ① 役員数

	理事	評議員	監事
2021年度	20	46	2
2020年度	23	48	2
2019年度	23	47	2
2018年度	22	45	2
2017年度	22	46	2

※各年度とも7月1日現在の人数を記載。

#### ② 教職員数

		合計	法人部門	大 学							高等学校・中学校			
				学長	経済学部、PDP教育センター	人文学部	社会学部	基礎教育センター、教職課程、グローバル教育センター	国際教養学部設置準備室	大学院	計	高等学校	中学校	計
本務教員	2021年度	172	0	1	42	41	22	10	1	-	117	28	27	55
	2020年度	173	0	1	43	41	24	11	-	-	120	28	25	53
	2019年度	174	0	1	43	43	24	10	-	-	121	29	24	53
	2018年度	173	0	1	43	42	23	11	-	-	120	29	24	53
	2017年度	171	0	1	41	44	23	9	-	-	118	30	23	53
非常勤教員	2021年度	362	0	-	55	113	50	92	-	3	313	31	18	49
	2020年度	366	0	-	60	108	51	95	-	-	314	32	20	52
	2019年度	374	0	-	57	108	56	99	-	-	320	33	21	54
	2018年度	358	0	-	53	109	42	100	-	-	304	34	20	54
	2017年度	420	0	-	63	114	69	120	-	2	368	32	20	52
本務職員	2021年度	93	6	-	34	26	20	-	-	-	80	4	3	7
	2020年度	91	6	-	33	26	19	-	-	-	78	4	3	7
	2019年度	88	7	-	31	25	19	-	-	-	75	4	2	6
	2018年度	90	7	-	32	25	20	-	-	-	77	4	2	6
	2017年度	89	7	-	32	25	19	-	-	-	76	4	2	6
兼務職員	2021年度	26	3	-	9	7	6	-	-	-	22	1	0	1
	2020年度	28	3	-	10	8	6	-	-	-	24	1	0	1
	2019年度	39	3	-	14	12	8	-	-	-	34	1	1	2
	2018年度	36	3	-	13	10	8	-	-	-	31	1	1	2
	2017年度	38	3	-	14	11	8	-	-	-	33	1	1	2

※各年度とも5月1日現在の人数を記載。

※2021年度本務職員数には出向者1名(法人部門)を含む。

※大学教員区分および大学非常勤教員数は文部科学省「学校基本調査」報告に基づいている。

## (2) 専任教職員の年齢構成・平均年齢・平均勤続年数

(単位:人数)

学部・機構	資格	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計	平均年齢	平均勤続年数
経済学部	教授	0	3	4	7	4	7	4	3	0	0	0	32	53.2	15.6
	准教授	0	0	0	0	0	1	0	3	2	0	0	6	38.5	2.7
	専任講師	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	36.3	1.3
	助教	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	57.0	0.0
	小計	0	3	4	8	4	8	5	7	2	1	0	42	50.0	12.3
人文学部	教授	0	7	4	7	9	5	3	0	0	0	0	35	56.7	17.0
	准教授	0	0	0	0	1	1	1	8	0	0	0	11	40.9	7.0
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	35.5	2.5
	助教	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	40.0	2.0
	特別専任 外国語講師	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	52.5	1.5
	小計	0	7	4	7	11	7	4	10	1	0	0	51	52.0	13.4
社会学部	教授	0	1	3	3	5	2	4	0	0	0	0	18	53.0	13.9
	准教授	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	4	46.5	4.5
	助教	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	41.0	3.0
	小計	0	1	3	4	5	2	7	1	0	0	0	23	51.8	12.5
国際教養 学部設置 準備室	准教授	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	38.0	0.0
大学計		0	11	11	19	20	17	16	19	3	1	0	117	51.1	12.7
高等学校	教諭	0	0	4	6	4	7	3	3	1	0	0	28	51.3	21.1
中学校	教諭	0	0	1	2	5	2	6	5	3	2	1	27	43.3	12.6
高等学校・中学校計		0	0	5	8	9	9	9	8	4	2	1	55	47.4	16.9
事務職員		0	1	9	8	17	15	15	12	7	7	2	93	46.1	14.8
総合計		0	12	25	35	46	41	40	39	14	10	3	265	48.6	14.3

※2021年5月1日現在  
 ※出向者(事務職員)1名を含む

## 6 募金(寄付)状況

### (1)100周年記念事業推進資金(寄付金)の推移

(単位:円)

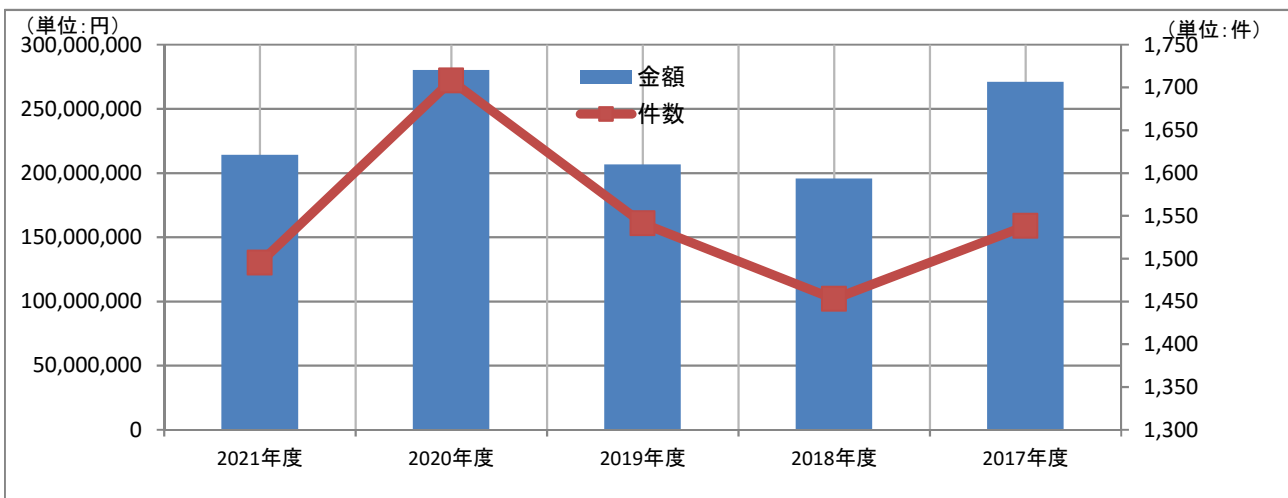
	2021年度		2020年度		2019年度		2018年度		2017年度	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数
100周年記念事業推進資金(寄付金)	214,213,561	1,495	280,093,100	1,708	206,669,756	1,541	195,757,244	1,453	271,033,000	1,538

(注)「現物寄付」の金額・件数は含まれておりません。

### ■100周年記念事業推進資金(寄付金)「内訳」の推移

(単位:円)

	2021年度		2020年度		2019年度		2018年度		2017年度	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数
教育活動収入(特別寄付)	145,496,378	1,093	163,539,700	1,290	142,223,808	1,057	122,817,987	1,003	127,520,433	962
教育活動収入(一般寄付)	42,050,000	179	29,630,000	140	33,480,000	160	35,290,000	150	32,300,000	163
その他の特別収入(施設・設備整備への寄付)	26,667,183	223	86,923,400	278	30,965,948	324	37,649,257	300	111,212,567	413



(注) 2021年度は、個人様より、10,000,000円(1件)、4,000,000円(1件:遺贈)の寄付、企業様より93,957,700円(33件)の寄付、高校中学保護者会様より18,180,183円(施設整備、高中サッカーグラウンド人工芝張り替え含む)の寄付、大学同窓会様より1,350,000円(地方学生奨学金)の寄付、高校同窓会様より4,000,000円(4つの奨学金)の寄付がありました。家計急変のための給付奨学金拡充募金は、5,034,634円(大学2,683,634円・108件、高中2,351,000円・45件)で、大学11号館建設資金募金は、4,955,000円(155件)でありました。

(注) 2020年度は、個人様より、10,000,000円(1件)と15,000,000円(3件)の寄付、企業様より79,540,100円(29件)の寄付がありました。また、大学父母の会様より75,000,000円(大学11号館建設募金70,000,000円、大学家計急変拡充募金5,000,000円)と高校中学保護者会様より9,974,400円(施設整備)の寄付、大学同窓会様より5,000,000円(大学家計急変拡充募金3,000,000円、地方学生奨学金2,000,000円)の寄付、高校同窓会様より4,000,000円(4つの奨学金)の寄付がありました。よって、家計急変のための給付奨学金拡充募金は、19,926,952円(大学13,525,952円・161件、高中6,401,000円・82件)で、大学11号館建設資金募金は、73,464,000円(149件)でありました。

(注) 2019年度は、個人様より、10,000,000円(2件)と6,500,000円(3件:遺贈)の寄付、企業様より83,030,000円(19件)の寄付、高校中学保護者会より99,955,200円の寄付、新棟事業(7件:6,439,756円)の寄付がありました。

(注) 2018年度は、個人様より、5,000,000円(1件:遺贈)の寄付、企業様より88,530,000円(22件)の寄付、高校中学保護者会より19,977,600円の寄付、新棟事業(111件:12,037,244円)の寄付がありました。

(注) 2017年度は、個人様より、15,000,000円(3件:遺贈)の寄付、企業様より156,280,000円(37件)の寄付、朝霞・新棟事業(212件:25,730,567円)の寄付がありました。

7 2021年度の主な施設工事、設備・備品等の状況

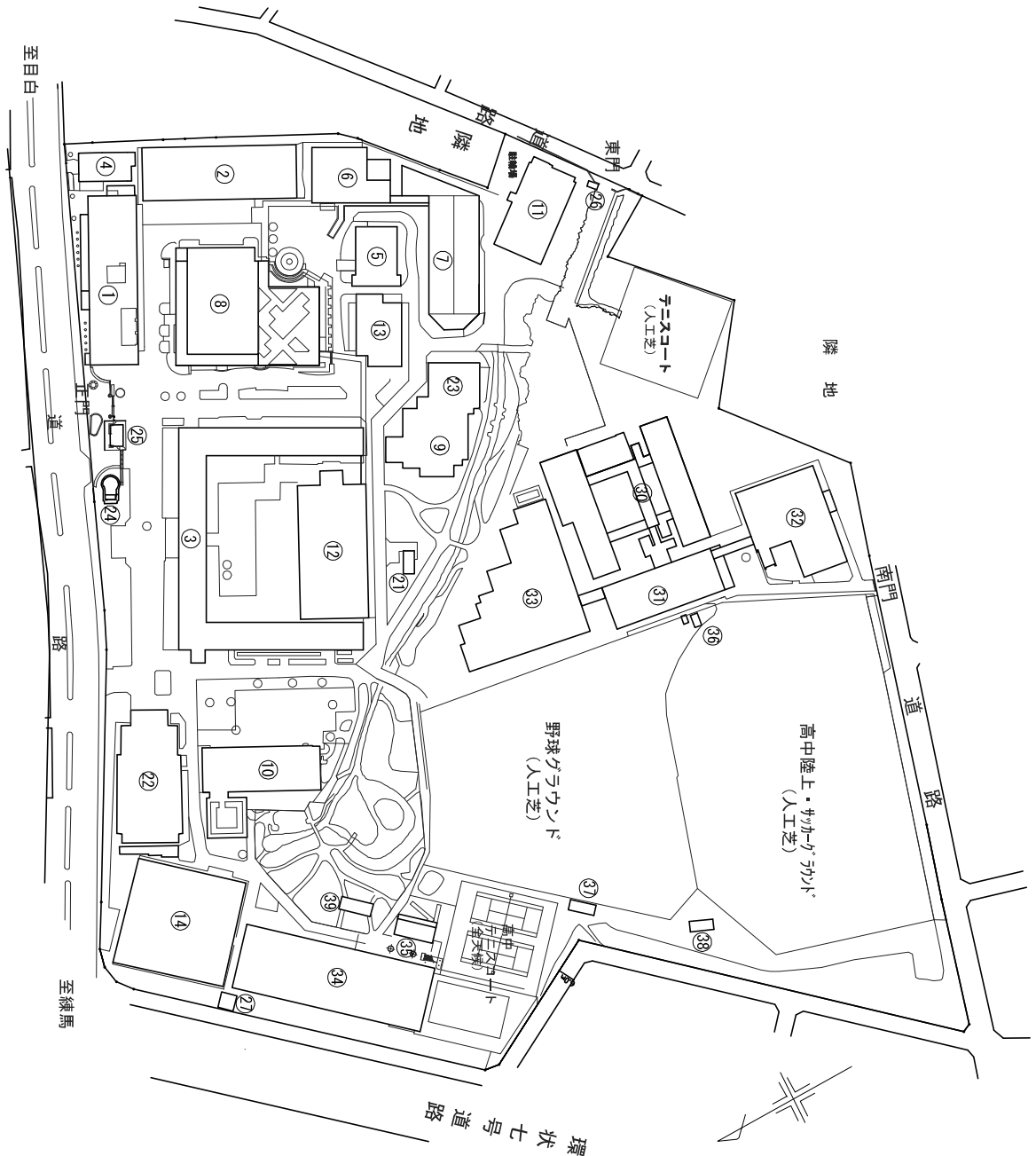
(1) 土地

①基本財産

種別	所在地	面積 m <sup>2</sup>	取得年月日 (登記年月日)	備考
校舎・ 運動場敷地 (江古田校地)	東京都練馬区豊玉上1-26-1	71,679.00	大正10年9月28日 (大正11年4月20日)	
	小計	71,679.00		
運動場敷地 (朝霞校地)	埼玉県朝霞市幸町3-15-3	66,859.00	昭和39年3月14日 (昭和39年8月17日)	
	小計	66,859.00		
鵜原寮地	千葉県勝浦市鵜原187	8,066.95	昭和27年6月30日 (昭和40年7月30日)	
	小計	8,066.95		
赤城青山寮地	群馬県前橋市富士見町 赤城山1-2の内	4,771.00	昭和54年4月1日 (借用開始)	借地
	小計	4,771.00		
武蔵山荘 (白馬)	長野県北安曇郡白馬村大字 北城字西山4487番地の4の内	200.00	昭和34年3月20日 (借用開始)	借地
	小計	200.00		
武蔵山荘 (星の小舎)	新潟県南魚沼市 大字荒山256-10	535.00	昭和42年5月1日 (借用開始)	借地
	小計	535.00		
毛呂山 学校林	埼玉県入間郡毛呂山町 大字権現堂字南ムヂナヤ	32,282.00	昭和28年7月24日 (昭和28年7月24日)	
	小計	32,282.00		
山形両所 土地	山形県西村山郡河北町西里 字両所2022番、他	2,278.92	平成18年11月2日 (平成19年3月1日)	
	小計	2,278.92		
	合計	186,671.87		

②収益事業用財産

種別	所在地	面積 m <sup>2</sup>	取得年月日 (登記年月日)	備考
豊玉北 土地 (購入土地)	東京都練馬区豊玉北2-12-5	407.27	平成23年12月16日 (平成23年12月16日)	
	東京都練馬区豊玉北2-12-9、13	511.40		
	小計	918.67		
豊玉上 土地 (購入土地)	東京都練馬区豊玉上1-24-2	542.08	平成27年10月30日 (平成27年10月30日)	
	小計	542.08		
	合計	1,460.75		



■江古田校地建物棟号面積表

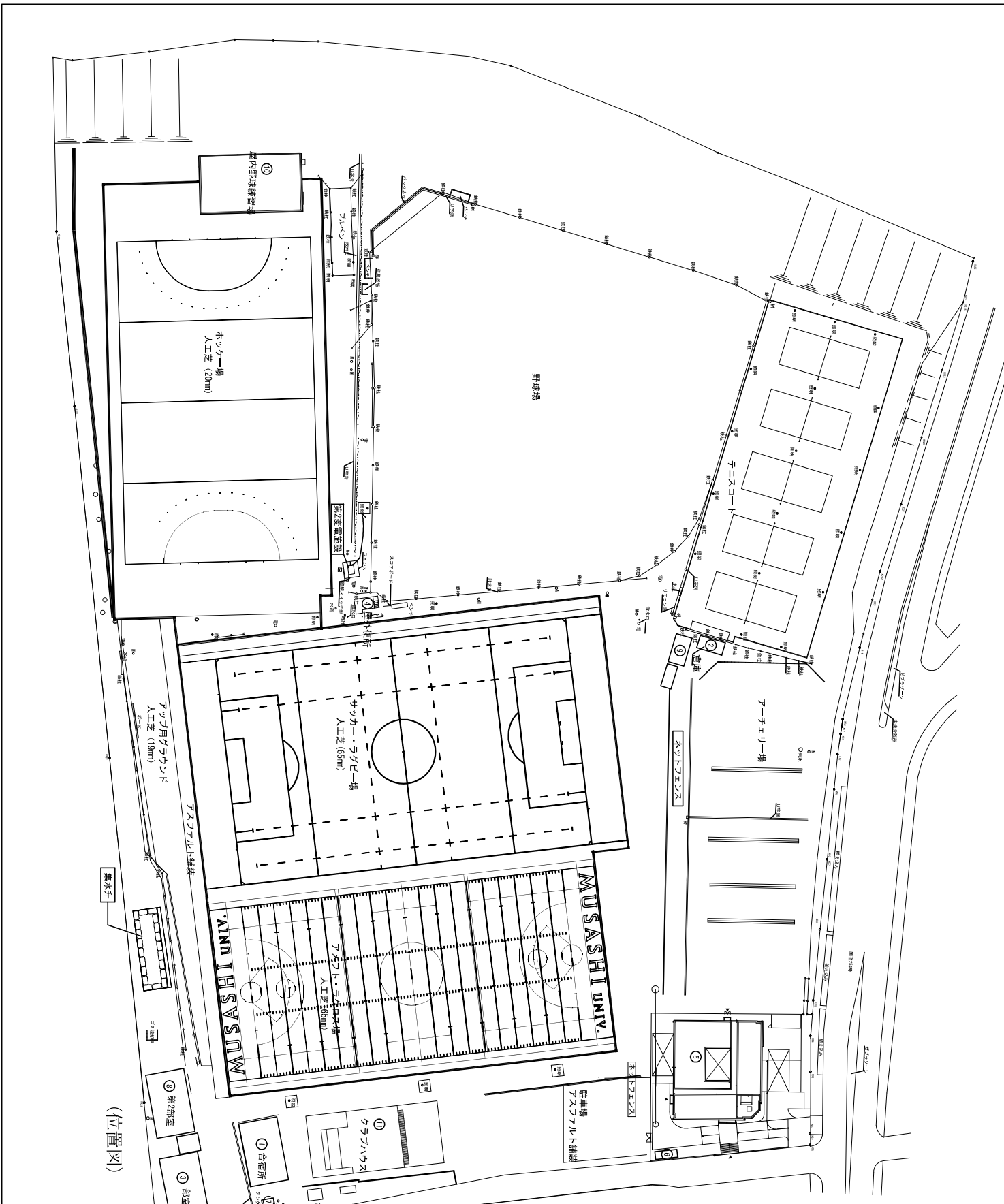
符号	建物名称	構造	延面積 (㎡)	取得年月日	西暦
1	大学1号館	S・RC造 地上4F地下1階	4,955.44	平成24年8月10日	2012
2	大学2号館	RC造 (F0) 地上3階	2,295.51	昭和55年9月30日	1980
3	大学3号館	RC造 地上3階	5,131.50	大正12年4月1日	1923
4	大学4号館	RC造 地上5F地下階	984.98	平成33年11月25日	1996
5	大学5号館	RC造 地上4F地下階	1,504.19	平成4年11月20日	1992
6	大学6号館	RC造 地上3F地下2階	1,572.08	平成4年9月10日	1997
7	大学7号館	"	4,109.49	平成30年3月10日	1997
8	大学8号館	RC造 (F0) 地上9F地下2階	10,081.67	平成4年6月11日	2002
9	大学9号館	S造 地上4階	2,106.59	昭和53年9月25日	1988
10	大学10号館	RC造 地上8階	5,573.13	平成19年9月10日	2007
11	大学11号館	RC造 SF 地下1F	3,072.09	令和3年12月15日	2021
12	大学図書館棟	RC造 (F0) 地上5F地下2階	4,965.01	昭和56年7月25日	1981
13	教授研究棟	SRC造 地上10F地下2階	4,012.83	昭和56年7月25日	1981
14	大学体育館	S・RC造 地上3階一部2階	2,028.69	昭和45年1月31日	1970
21	旧24F・セラー	RC造 地下2階	374.72	昭和55年11月17日	1980
22	大講堂	S・RC造 地上2階	1,303.15	昭和33年3月10日	1928
23	根津化学研究所	RC造 地上1F	165.00	昭和11年10月3日	1936
24	管理棟 (旧守衛所)	RC造 地上2階	54.06	平成7年1月27日	1995
25	守衛所 (正門)	S造 地上1階	33.75	平成24年8月10日	2012
26	守衛所 (東門)	RC造 地上1階	6.70	平成30年12月27日	2018
27	分別作業倉庫	LS造 地上1階	20.56	平成25年1月31日	2013
30	高中校舎	RC造 地上4階	3,734.71	昭和44年9月31日	1969
31	高中校舎 (西棟)	RC造 地上4階地下1階	2,774.36	平成12年12月19日	1996
32	高中図書館棟	RC造 地上4階地下1階	2,453.62	平成6年1月15日	2004
33	高中校舎 (理科・特別教室棟)	RC造 地上4階	5,865.00	平成29年11月30日	2017
34	高中体育館	RC造 地上3階	2,465.37	昭和45年1月31日	1970
35	高中体育館変換	LS造 地上2階	151.92	平成21年4月10日	2009
36	高中陸上用具庫	CB造 地上1階	12.28	昭和51年9月19日	1986
37	野球用具庫	CB造 地上1階	12.58	平成19年9月5日	2007
38	バイク用具庫	CB造 地上1階	8.88	平成19年9月5日	2007
39	屋外便所	RC造 地上1階	38.24	昭和53年11月30日	1978
計			71,864.39		
江古田校地面積			71,679.00		

東京都練馬区豊玉上1-26-1

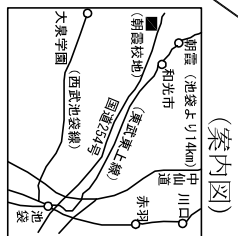
敷地建物図

日附 2022年 4月 1日

学校法人 根津育英会 武蔵学園



番号	建物名称	延床面積	取得年月日
1	合宿所	509.26㎡	平成30年5月24日 1986
2	倉庫	26.22㎡	平成元年9月1日 1989
3	第1部室棟	411.54㎡	平成3年9月25日 1986
4	屋外便所	18.82㎡	平成10年9月20日 1988
5	朝霞グラサ	2,811.80㎡	平成15年1月28日 2003
6	同上ゴミ置場	12.64㎡	平成15年4月17日 2003
7	合宿所ビル	5.69㎡	平成16年2月10日 2004
8	朝霞第2部室棟	576.88㎡	平成16年2月10日 2004
9	第1倉庫	33.23㎡	平成20年9月25日 2008
10	屋内野球練習場	472.71㎡	平成25年2月27日 2013
11	朝霞クラハウス	1,579.38㎡	平成28年10月14日 2016
12		㎡	
13		㎡	
14		㎡	
15		㎡	
	計	6,538.16㎡	



(位置図)

(案内図)

朝霞校地	
案内図	
日付	2022年 4月 1日
学校法人 根津育英会武蔵学園	

## (4) 2021年度 主な施設工事

&lt; 建物・付属設備 &gt;

(300万円以上の物件)単位:円

学内部門	物 件	場 所 ・ 摘 要	取 得 月 日	取 得 価 額
大学共通	大学5号館1階内装改修工事	大学5号館	2021年9月4日	43,001,143
	建物付属設備(大学5号館1階内装改修工事 電気設備、火災報知設備、空気調和設備、換気設備、給排水衛生設備)			
大学共通	大学11号館新築工事	大学11号館	2021年12月15日	1,063,520,524
	建物付属設備(大学11号館新築工事 電気設備、空調換気設備、昇降機設備、給排水衛生設備、防災・防犯設備)			
大学共通	大学1号館アドミッションセンター改修工事	大学1号館	2022年3月24日	74,152,784
	建物付属設備(大学1号館アドミッションセンター改修工事 電気設備、給排水・衛生設備、空調換気設備、防災設備)			
大学共通	大学8号館4階改修工事	大学8号館	2022年3月13日	21,791,436
	建物付属設備(大学8号館4階改修工事 電気設備)			
大学共通	大学8号館1階改修工事	大学8号館	2022年3月13日	12,118,860
	建物付属設備(大学8号館1階改修工事 電気設備、空調設備工事)			
大学共通	建物付属設備(大学図書館 エレベーター改修工事)	大学図書館棟	2021年8月31日	11,000,000
高中共通	建物付属設備(高中エリア受水槽設置工事 給排水設備工事、電気設備工事)	江古田校地 高中エリア	2022年3月28日	26,114,912
大高中	建物付属設備(江古田キャンパスエネセン変電室高圧引込幹線容量格上げ更新工事)	江古田キャンパス 変電室	2021年9月30日	8,000,000

&lt; 構築物 &gt;

(200万円以上の物件)単位:円

学内部門	物 件	場 所 ・ 摘 要	取 得 月 日	取 得 価 額
大学共通	朝霞野球場ライト～センター間防球フェンス立替工事	朝霞校地	2022年2月25日	42,426,753
大学共通	朝霞ホッケー場 サッカー・ラグビー場側防球フェンス嵩上工事	朝霞校地	2022年2月25日	2,200,000
大学共通	大学11号館 外構工事	江古田校地 (大学)	2021年12月15日	55,948,170
高中共通	高中サッカーグラウンド 人工芝張替工事	江古田校地 (高中)	2022年3月25日	46,094,588
高中共通	高中エリア受水槽設置工事 外構工事	江古田校地 (高中)	2022年3月28日	15,685,088
大高中	大学11号館北側近隣境界擁壁改修工事	江古田校地 (大高中)	2022年3月31日	10,405,120

(5) 2021年度 主な購入備品

<購入>

(100万円以上の物件 単位:円)

学内部門	物件	台数	場所	取得価額	取得日
大学共通	11号館什器類	403	大学11号館	10,991,597	2022年2月28日
大学共通	大学11号館ネットワーク機器	19	大学11号館	8,709,666	2022年3月31日
大学共通	PC管理ロッカー	1	大学11号館4F	6,710,000	2022年2月28日
大学共通	大学11号館AVラック	4	大学11号館	6,686,680	2022年3月10日
大学共通	壁面用プロジェクタ(廊下)	5	大学1号館1F	4,035,941	2022年3月24日
大学共通	3号館3101・3102教室椅子	198	大学3号館	3,641,000	2022年2月25日
武蔵高等学校	(理振)回転式マイクローム	1	高中理科・特別教室棟	2,332,000	2021年9月21日
高中共通	高中ネットワーク機器	2	江古田高中	2,067,877	2021年11月10日
大学共通	9101教室椅子	56	大学9号館9101教室	1,991,000	2022年2月25日
大学共通	86型4K液晶ディスプレイ(ホール)	1	大学1号館1F	1,943,507	2022年3月24日
大学共通	カラー複合機(C450i)	2	大学11号館	1,661,642	2022年3月10日
大学共通	3204教室椅子	90	大学3号館3204教室	1,640,714	2022年3月30日
大学共通	メディアプレーヤー	5	大学1号館1F	1,094,618	2022年3月24日
	計			53,506,242	

(支払総額100万円以上の物件 単位:円)

<リース備品>

該当なし

<リース車両>

該当なし



**学校法人根津育英会武蔵学園**

**2021年度事業報告書**

第18号 [2022年5月発行]

学校法人根津育英会武蔵学園 経営企画室

東京都練馬区豊玉上 1-26-1 (〒176-8533)

TEL (03)5984-4022 FAX (03)5984-3843